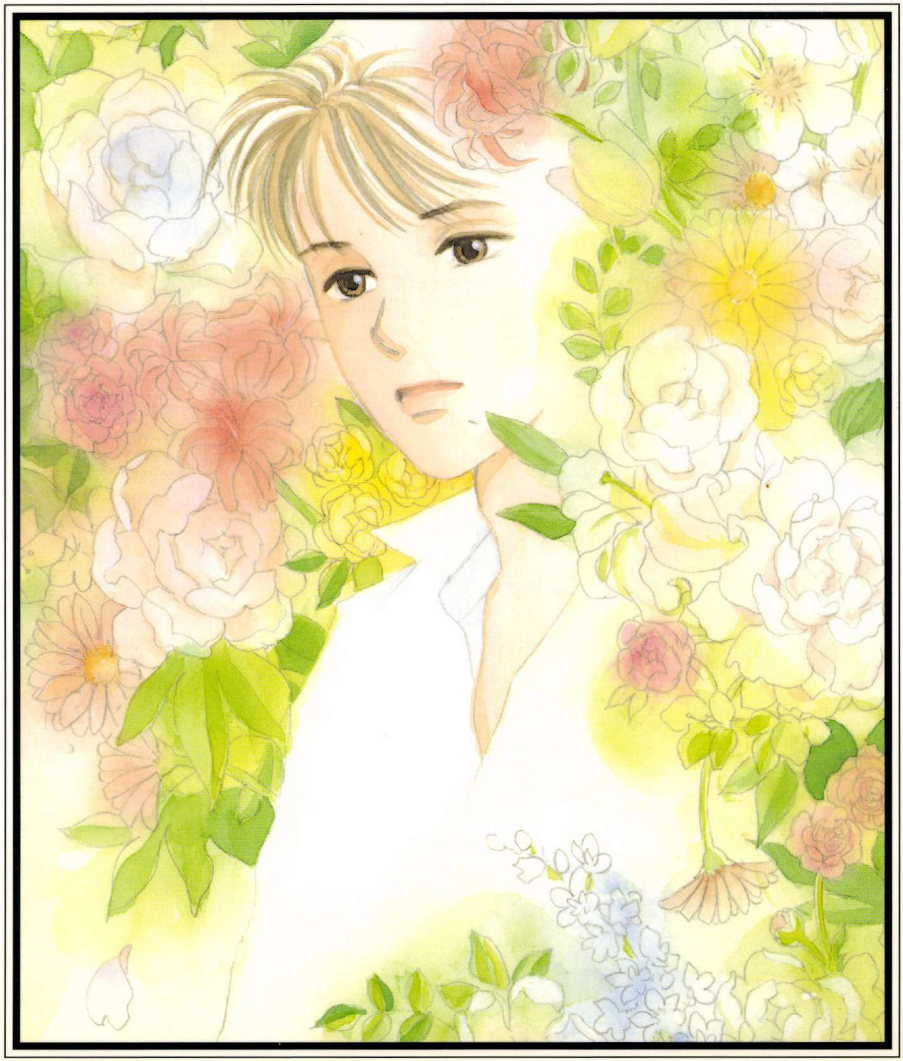
夢路行全集22

Kou Yumeji Complete Works 22

Tatazumu Kioku

佇む記憶



夢路行全集22

Kou Yumeji Complete Works 22

Tatazumu Kioku

佇む記憶

夢路行全集
22

佇む記憶（たたず）



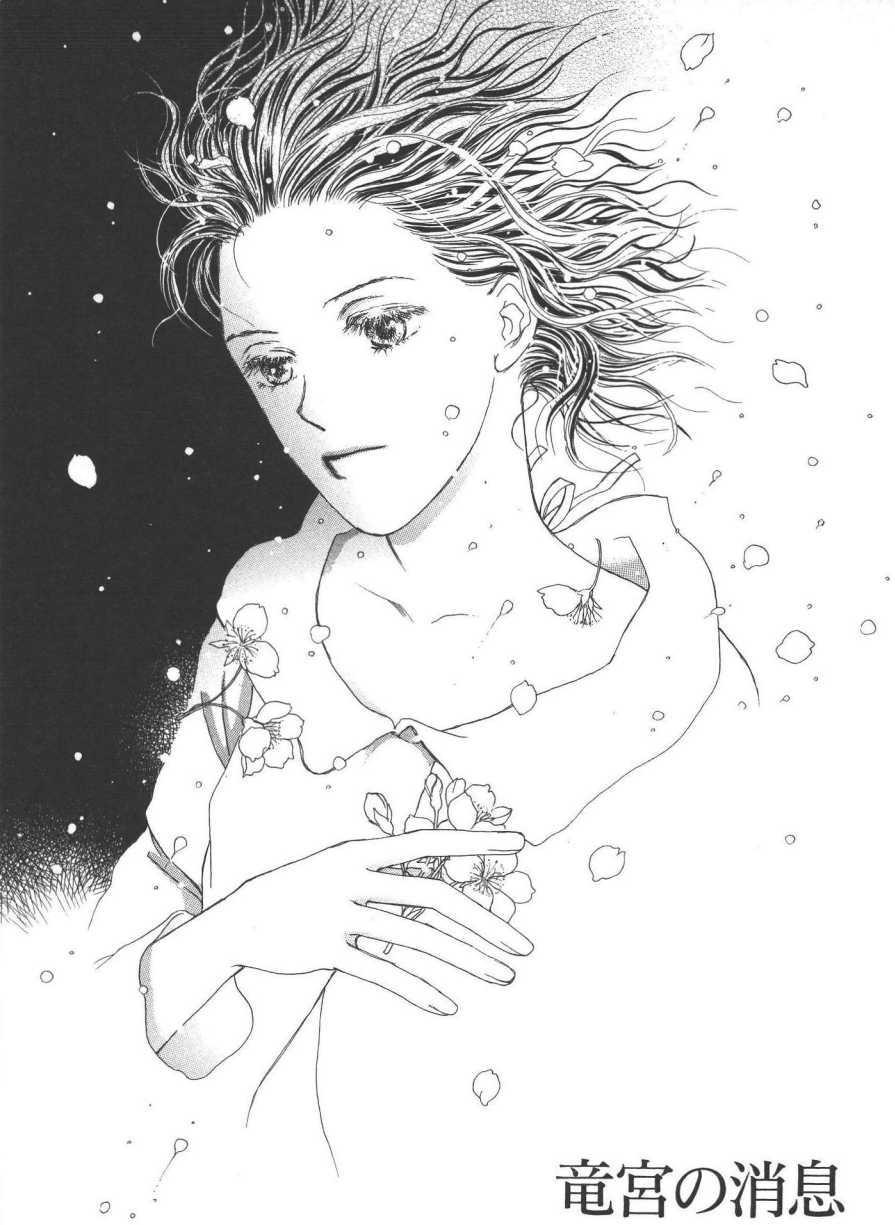
竜宮の消息
3

坂の下
49

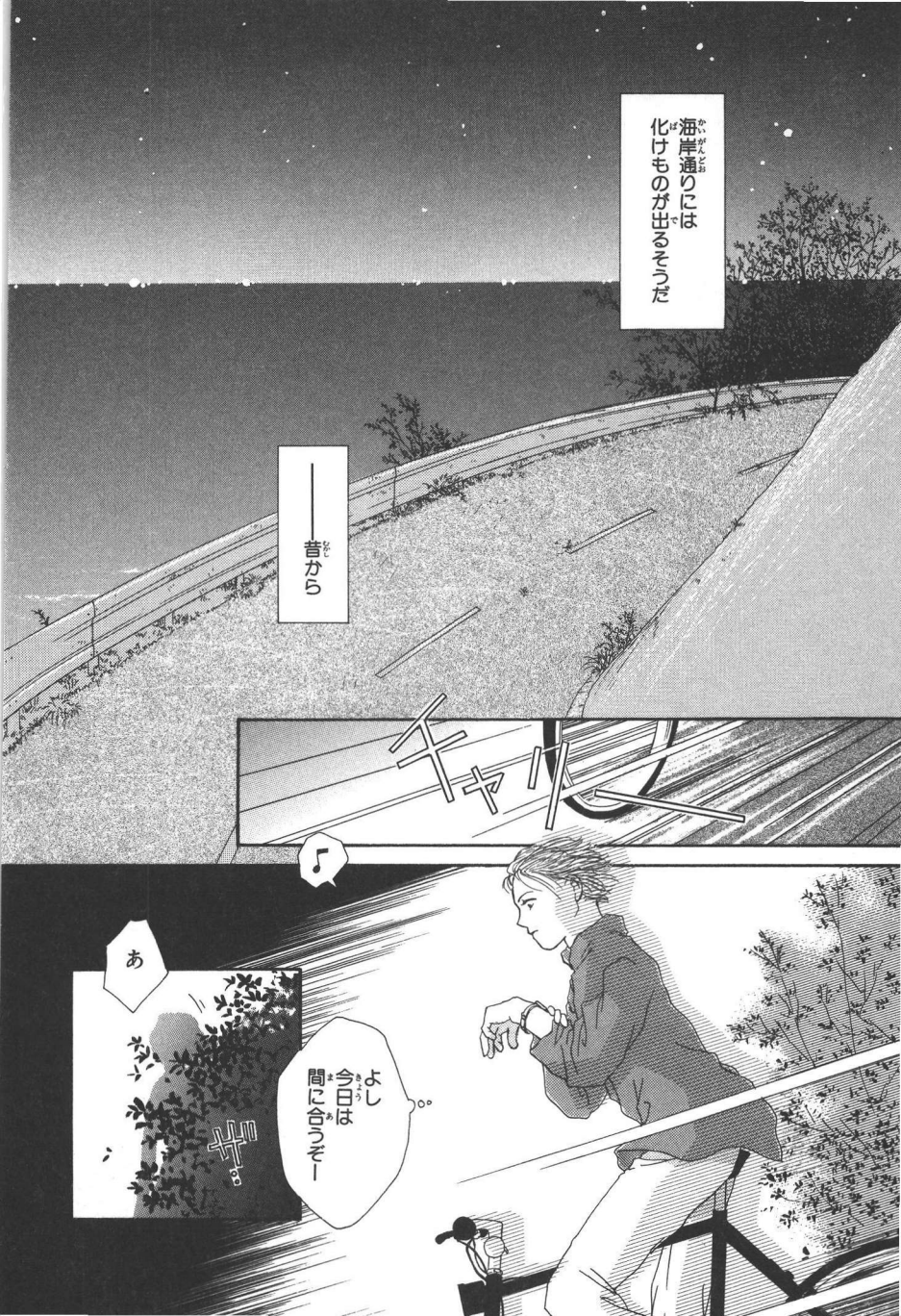
佇(たたず)む記憶
89

夏の家
139

—初出—
「竜宮の消息」・秋田書店「ミステリーボニータDX」2000年VOL.6
「坂の下」・秋田書店「ミステリーボニータ」2002年11月号
「佇む記憶」・集英社「ぶ〜けDX」1997年秋の号
「夏の家」・秋田書店「ミステリーボニータ」2000年9月号



竜宮の消息


海岸通りには
化けものが出るそうだ
――昔から
チャリ
♪
よし
今日は
間に合うぞー
あ
ヒュー

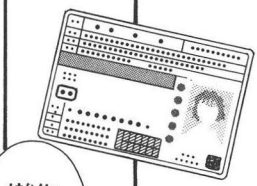

わ
わ
キキ
キキ
キキ
ヤバッ
だ…
だいじょーぶ!?
あの……


失敗 失敗
は…
ま
スピード出てたわりに
上手くよけられた
ことにしとこ
…
ガチャ
…ごめんなさい
油断大敵
しゃー
まさか
こんな所を
歩いてる人間が
いるとは思わず
あ！
あたしも！
自転車が
暴走して来る
とは
思わなかった
坂の多い山道だし…
ははははは
そうだよな
旧道だから
車も
通らないし——
はは…
街灯ないし


ばっ
怖かった――!!
わ
……出た?
出た――ッ
あらー
あらー
バイクの免許とりたてで車が通る道怖いからこっちにしたら
何か前に飛び出して来てそれで
大きさこれくらいで角生えてなかった?
あった! なんかそーゆーの
それ鹿だよ


しか…？
俺も
たまに見るよ
あー褒れてる
ぜんぜんダメね
かちかち
友達のなのに
――
命が助かって
よかったじゃない
送ってやるよ
帰ろ
待って
待って
洋服とか
靴とかが入ってるの
買ったばっかりなの！
拾えねーよ
あんな所
ガーー
わーん
あたしのバカー
だからカスリキズですんで良かったと
ーー
――ああ
化け物でも
誰でもいい
アレを拾ってくれたら
ら？


デートしてあげる
その程度か
なにっ
がが
ん
ふたりけたり
明日
なんとかしてみるよ
寿に殺されてみるよ
ホント?
あたし
佐倉みずえ
4月から高校生
よろしく
俺は
大学…
なっ!?
なら
免許
あるわけ
ないだろ
おまえ
!?
や…
そりは
えー
ザザーン…



佐倉さんとこの娘さんだろ












きゃ――!?
あ
あたしの――
ない↓
落ちたか
ダメじゃん
荷物をカゴに
入れっ放しにして
いくら人通りなくたって
え?
…
どーして…?
誰かが
拾ってくれたの?
……
誰が?
親切な人が
ロープを使って
あとはほし
フリークライミングが
できて
服や靴に興味なくて
――なんのためだか
石を置いて行くヤツ
石?

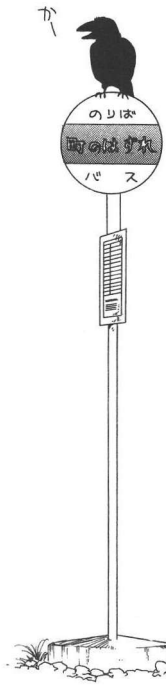

大きさも色も
揃った石が7個
均等に並んでる
……意味ありげだ
どんな意味？
さあ？
ホシダ
あと
その紙袋は
1度
ぬれたみたいだ
こんとこ
かわいて
がびっと
なっている
潮が
引いた時に
海岸から
登ったー
とか
もしくは
上から
下までおりてー
さあー
でも
佐倉は
その誰かと
デートしなきゃね
ザザーン
それを
拾ってくれたヤツと
デートするって
言ったろ


……言ったけど
あたし
ふたまたは
いやだな
：
大学って
休みの間こっちに
いるんでしょ？
……あの
彼女――
いないんだよ
……ね？
いるわけ
ないだろ
コイツに
オメデトー
ぜっくつむの
バイクつむの
手伝えば
部品は
ウチにあるし
今日夜には
修理できると
思うよ
ほんとー
よかったあ
ひゅー
俺も
手伝――
つちっ
わ!?



ぴーひょろろ

トンビがくれたのかな






すみません
降ります!!
止めて
くださーい
キキッ


バス
遅れるなんて——
いや まさか
すっぽかし…?
だか
だか
がが——ん


佐倉——
ここ!


車庫場
今来たとこ?
もうバス——


朝シャン?
こんほとこぴ


うん


そんなんだったとはー
海岸沿いに自転車で来たんだけど
またワカメが頭に降ってきて
え――!?
そこの水道で洗ってたわけ
これからデートだし


なんか変だ
うん――……?
竜巻とか…お天気の関係でカエルや魚が降ることがあるって話は聞いたことあるけど……


2日続けてワカメに降られる人って――
すごくヘン
まあいいや
次のバスまで2時間あるし歩かないか?
こんだからイナカは
そのうちかわく
てきとーな所でバスに乗ればいいだろ


春だし
ぽか
ぽか
おう♡
去年は桜が咲いてどーした
って感じだったけど
キレイ
キレイ♡
うんうん
よかったねえ
そーだ昨日のオッサンとこの花見に誘われてるんだけどまざりたい？
え
いいの？
来週の日曜日晴れたら
ゆーい


もし雨でも——
ぴちっ
はっ
あっすごい
またワカメ？
なんなんだ
てん
てん
てん
……


あっち
意味ありげに——
……石だ
今日は6個
昨日は7個
今日は6個
ふーん
明日5個に減ってたら——


なんのために？
日数を
カウントダウン
してる
——みたいだ
さあ——
でも
俺たちに
用があるんだと
思うけど
「カメは
気をひく為に」
じゃあ
5日後に何か…
本人が出てくる
とか……かな？
え？
どんな人だろ
ちょっと楽しみ♡
……人？
チャリ


ちぇ
遅くなったな
――――
げ…
ザバン
と
と


ザザザ
ぬれてる
ザザーン
人間じゃないって…
鹿でしょ?
鹿はあんな高さから海に飛び込んだりしない
着ぐるみを着た変人——
ずっと大きかったし
そいでフリークライミングもできるのね
あっ佐倉だ—デートだッあれがうわさの大学生か?
Sale!
そんな愉快なヤツがいてみろ
とっくに町中に知られてるぞ
やっぱ
そーだね
バレバレです
——でもそんなまさか

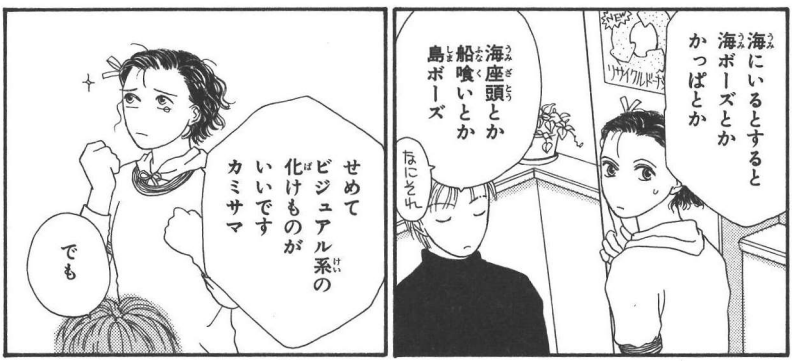

ほんとに化けものが出るの……？
たぶん
そぞーーん
イメージ


わるい子は食べられちゃうの
海岸通りには化けものが出る
山の沼には蛟が棲んでる
町はずれの辻に幽霊が立ってて鬼の崎は文字どおり鬼がいたとかなんとか


佐倉だって初めそう思ったろ？
あれは――だって子供の時から教え込まれたせいで…
でもやっぱりそんなまさか…
うん――

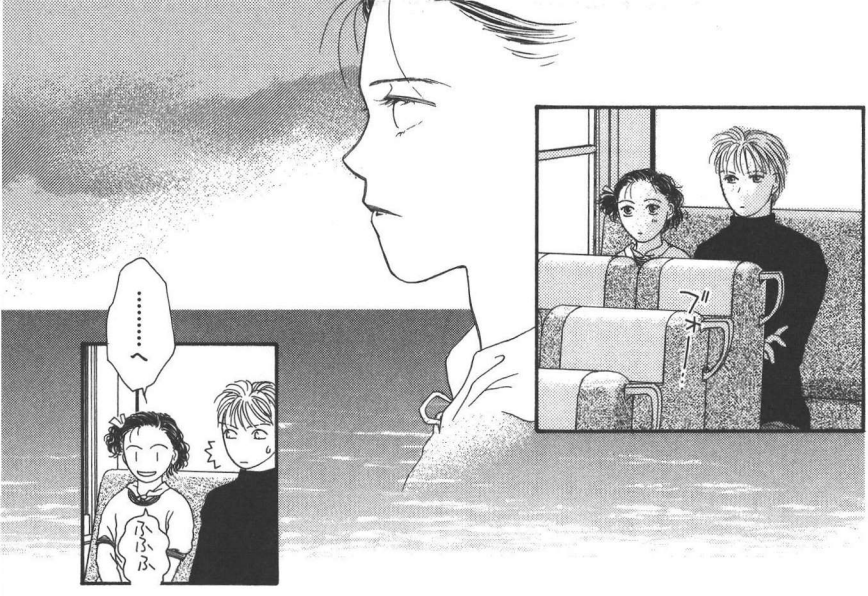

ん！
昔から…だから
1人で野山に行っちゃ
ダメだって――
でもそんなの
話だけで
目撃した人に
会ったことないよ…？
にや
え？
なに
にやって
もしもし？
じつは
高校の時ずっと
あの道を通ってた
鹿
猿
イノシシは
何度か見たよ
なんだー
それ以外の
なにかも何度か
ひ――

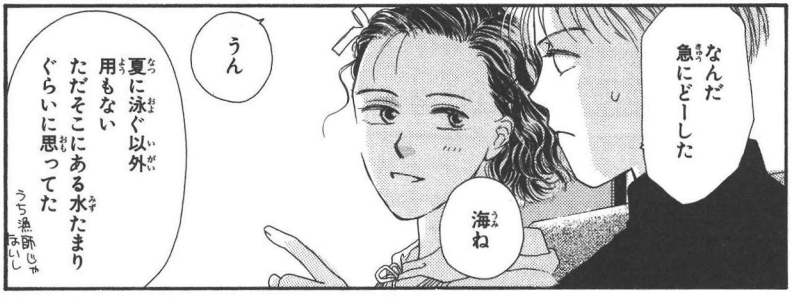

こんなん
だったのかー
どーして
こんな…
やっぱり
荷物拾って
くれたら
デートするなんて
言っちゃったから
……？
考えてみれば
昔話に
よくあるパターン


海にいるとすると
海ボーズとか
かっぱとか
海座頭とか
船喰いとか
島ボーズ
なにそれ
せめて
ビジュアル系の
化けものが
いいです
カミサマ
でも


あの場所や
海に近づかなきゃ
いいんでは？
あ。
そうよね
――!!
あくしん
あくしん
でも
化けものだから
追っかけて
来るかもね

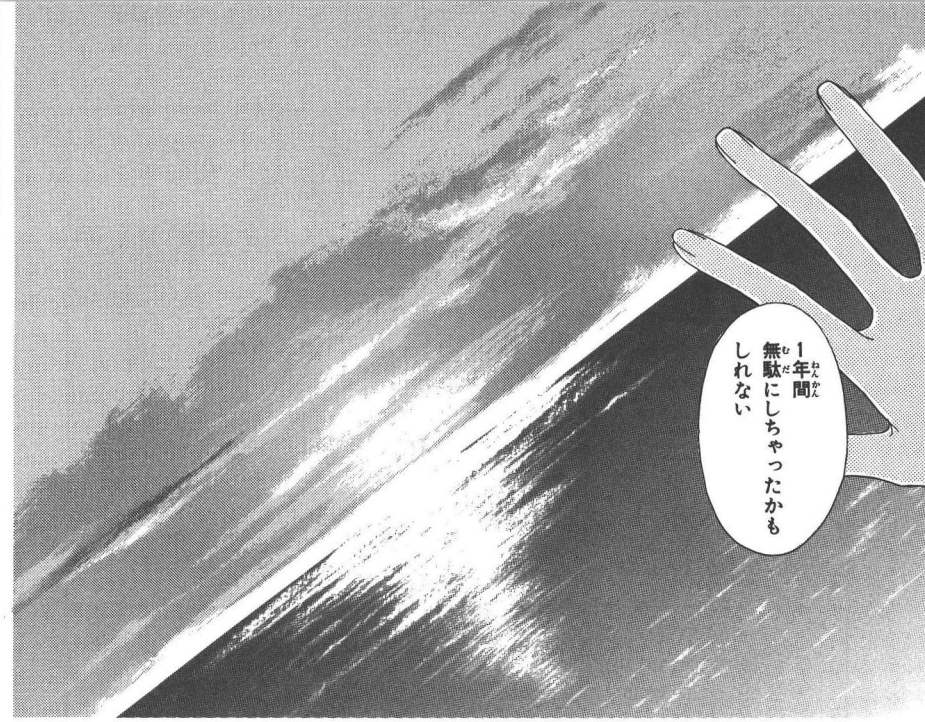

安心させたいのか
怖がらせたいのか
どっちなのー
本当のことを
言ってるだけ
おう！


ブオー!!
……へ
ふふふ


なんだ
急にどーした
海ね
うん
夏に泳ぐ以外
用もない
ただそこにある水たまり
ぐらいに思ってた
うち漁師じゃないし


でも
化けものいたりして
なかなか
侮れないぞ海!
すごい!
偉い!


思わず
笑いが
こみ上げた
——ってね
もっと早く
気がつけば
よかったなあ


1年間
無駄にしちゃったかも
しれない

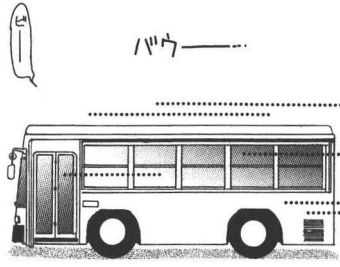

まあ
春の雨も
なかなか——
佐一倉ちゃん
もう
肉が
焼けてるよーッ
もう
千太郎モータース
修理
パイク
自転車
他
…こーゆーの
花見って
言うの？


花が見たいの？
ホラ　はなっ
世界にひとつよー♡
おい…
ばか
だんごっ鼻キライ
きびしいこと
お茶ーどうも♡
残念よね雨になって
そーですね…
明日も降るのかしら
予報じゃ晴れるらしいけど——
明日？
なんだなんだ
またデートかおまえたち
昨日だって1日遊んでたくせに飽きないのかね～～～
若いんだからいーじゃない
ねえで知ってる
明日はめでてーひな祭りー
るん♡
4月なのにひな祭りって
旧暦のよ
普通のひな祭りとちょっと違うし
この頃は誰もしないみたい知らないでしょ？
うん


小さい子供だけがやるものなの
重箱につめたごちそうを持って海や野山に遊びに行く――
女の子も男の子も友だちと連れだって
1日中外で遊んで来る
それだけ？
それだけ
楽しいほどいいって
でもどうしてかは誰も知らなかったけど
わたしの小さい頃はやってたわよ
楽しかった――
きっととても旧いお祭りなのね


古いことは
みんな
忘れちゃうぬー
いや……
知ってた？
化けものと
関係ありそう
じゃない？
「あした」って
どこにか
——明日は
晴れるみたい
だけど
たまには
家でゲーム
やるのもいいかも
……
そういえば
西高は
寮に入るんだろ
その準備するとか
な？
こら2人！
そこで
デートするなー
こっちへ来て
肉をくえー
ほい
ほい


ふむ
ッ
ふむ
ふむ
ブォー……
バタン
ともー
プシュー
自動ドア
行くか！


ぴー
バウ――…


でも
ちょっと
怖い
でも
行くのだ


てけ
てけ
ひた
ひた
てけ
ひた
ばっ
きゃ――っっ


きゅっ!
重箱?
犬!?
べろべろ
名前は
ちくま
女の子好き
やっぱり
来てたー!!
朝早く
電話したのに
いないから
そーだと思って
図書館に
行ってたんだ
これは?
うちの母親も
旧いひな祭り
やったんだって
それでごちそう
作ってくれたの
楽しく
遊んで
来いって
ついでだから
来ちゃった
怖がってるくせに
もの好きだな
えへへ


じゃあ
来てないヤツは
放っといて
遊ぶかな
ここで？
どーせ
車もんも
通らねい
ザザッ
あの…
遊ぶって
そーゆー
……？
俺の
この頃の遊びは
読書なの
ホイ
ウォン
ボール
とってこーい
おおっ
すばらしい
きゃっほー
かしこいぞ
ちくま♡


ありゃ
——佐倉…
うー
どうした？
たたっ
ちくま捜せ
ワン
たたた
ガッ
きゃっ
なんですぐわかるのー？
もういっかいね！ちゃんと隠れるから
見ちゃダメだよーッ まーだだよー
本気で楽しんでるなあいつ
パタパタ
おまえもか


もーいいよー
ちくま
ワン
ガサガサ
ガザ
ぷくすう
ふんふん
ふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふん
ふんふん
ふん
ワン
ガッ
ちえ——
ワンワン
ここまでおいでーだ
こんなに気持ちのいい日なのに
ちくまの飼い主はダメだね


ひなたで本なんか読んでると
目をわるくするよ…って
ワン
ワンワン
ワン
ワンワンワン
はいはい戻りま——
ナンの。
…
きゃ——!?
キキャー
ザザ
ワンワンワン
あっあっ
あ


佐倉
うっ
てて
だいじょ
——ぶ…
枯れ葉のクッションがけっこーいい感じ
ワン
ワン
んしょ
ワン
ワン
ちくま静かに
佐倉の下のヤツが嫌がる
下？


ひゃ
ザザ
なに
これ――!?
びちゃ
また
佐倉
それが
デートの相手だ
あの
はい
いってらっしゃい
はっ
こら――ッ
約束
したのは
キミ


カルシ
あ。
ガシ
なんで俺とちくまで
デートじゃなくてみんなでいっしょに遊びたいのかも
昔話の化けものとは違うみたいだし
昔？
昔
7歳で死ぬと予言された赤ん坊がいて
親は7歳まで大事に大事に育てた
で7歳の春に
ふんふん
ごちそうを持たせて好きな所へ行って好きなだけ遊んで来いと送り出した
それって…
図書館で借りてきた
郷土の民話一
あと古くは野山の神さまを子供たちが年に1度慰めに行く風習があった…と


そーゆーのが
まざって
ここのひな祭りに
なったのね？
ふんふん
それも
忘れられた
みたいだけど


で……
これから
どーすれば
いいの？
たしかに
怖くは
なさそう
だけど
うーん

子供は
海岸に行った

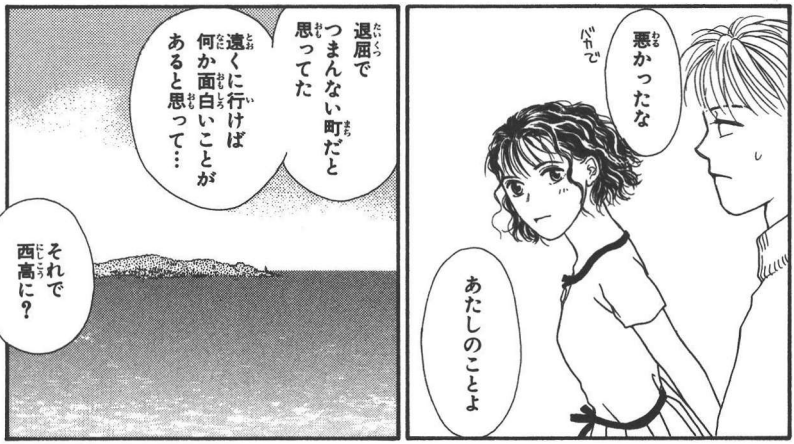

海から
化けものが出て来たけど
子供は平気で
ごちそうを分けてやって
歌や踊りで
化け物を喜ばせた
歌？ 踊り？
どうぞ


そんなの——
受験勉強してて
新曲もわからないよ
パス!!
俺も
芸能関係は
いまひとつ
えいっ


えーとじゃあ…
キャ!!
お踊ってる――!?
見てなさい
その程度ならあたしだって!
あ挑戦的
べんきょおべんきょおの旅だっぜー
行くぞちくま
のってきたね
受験おおばこちー
足りないぬ
トリカラきらい?
ほら行くよ――


きゃーっ
魚がいる――
先に捕まえた人勝ちね――
アメあげよう
人か？
はあはあ
化けものと犬の体力にはついていけないー
楽しそうだぞ


ちくまも
イザって時に役に立つかと思って連れて来たのに
イザ？
……
子供と化けものは楽しく遊んで日が暮れて
子供が帰ろうとすると化けものが
〝今日おまえを食うことに決まっていたけれど
楽しませてくれたから食うのはやめる〟
そう言って海に帰って行った
とさ。
同じ化けものかな
さあ——
わかんないことだらけね
こんな小さな町なのに

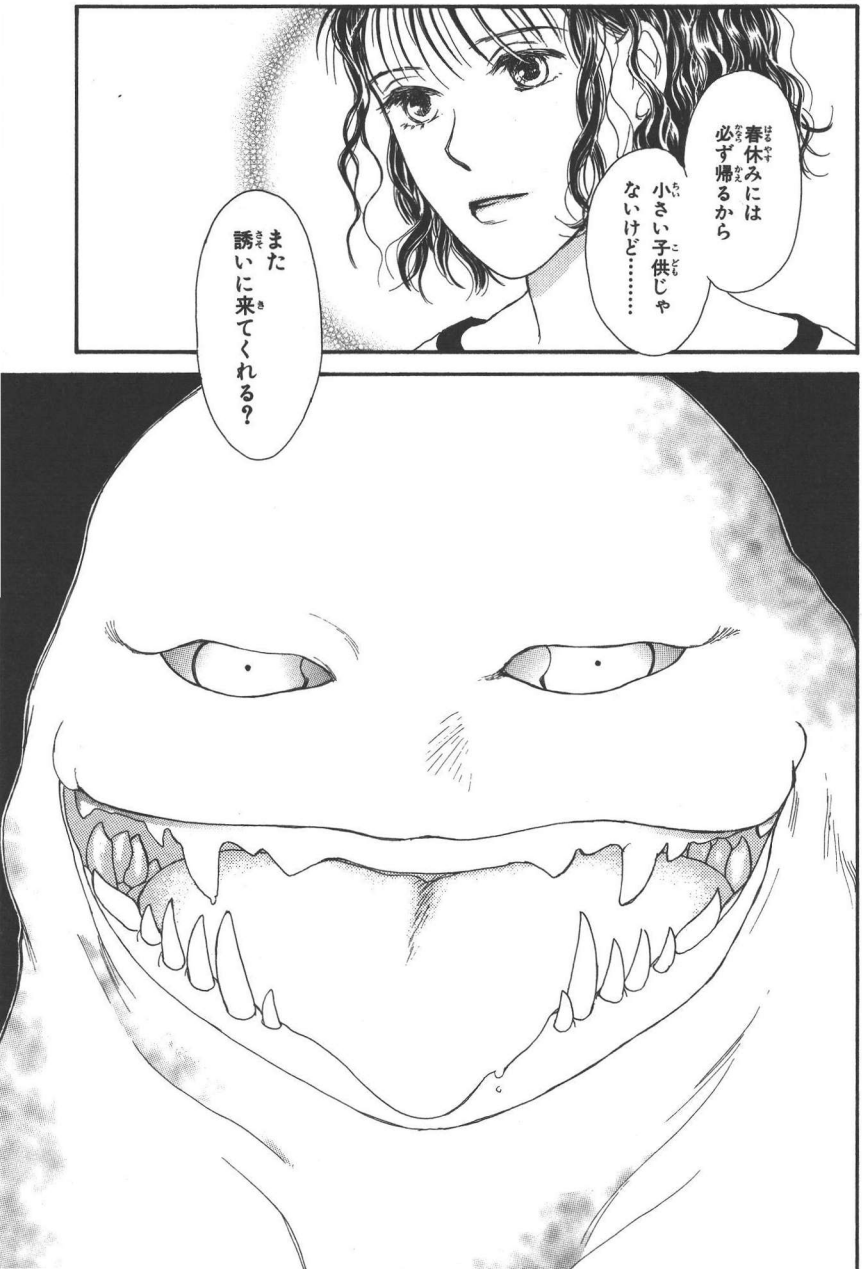

悪かったな
バカで
あたしのことよ
退屈で
つまんない町だと
思ってた
遠くに行けば
何か面白いことが
あると思って…
それで
西高に？


ほら
きれい


あたしの頭で行ける
一番遠くの学校です
むきになって
1浪しないで
近くの高校に
行けばよかった


そうしたら
もっと早く
気がついてたかも
——


ザザ…
よいしょう
そうだ
忘れてた
あたしの
荷物
拾ってくれて
ありがとうね
今日
すごく
楽しかった…
あたし
これから
遠くに
住むんだけど


春休みには
必ず帰るから
小さい子供じゃ
ないけど……
また
誘いに来てくれる？

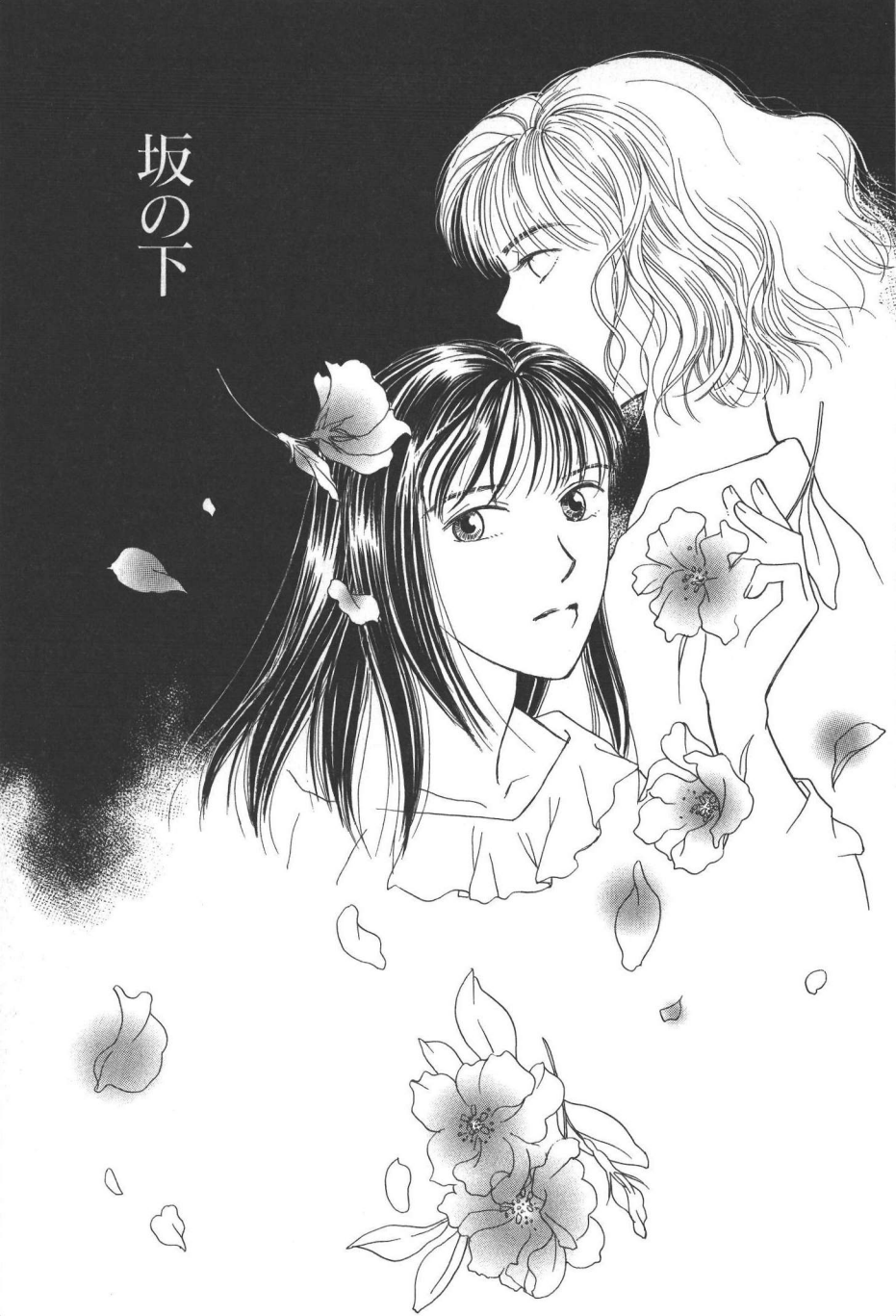

笑だ？
……
ブーン
楽しんでくれたみたいだな
そうか
くれて良かった
来年のために芸をみがかなくちゃ！
がんばってね
うっ
いっしょに！
あたし電話もするし手紙も書くしEメールも送る
遠くに住んでても……あの


忘れないで
会いに行くよ
どうせ俺は
ひまなんだ
大阪ほ…て
あうしあぽい
ザザーン
ここを
離れるのが
残念だと
思うなんて
不思議
でも西高を
あきらめてたら
今でも
この町が
嫌いかもね
……
1浪して
なかったら
同じように
化けものに会っても
俺に会っても
違うことを
感じていたかも
しれない
そうか——
化けものなんか
信じないし
一目ぼれも
しなかったのかもね？
そゆこと
ひとめぼれだったらかい
こうして
並んで歩くことさえ
夢だったかもしれない



竜宮の消息 ―おわり―

坂の下




あの娘を連れてきて
ずっと
ひとりでここに
いたの？
外人墓地に
座ってる――
怖くない？


生きた人間がいないから
怖くないわ


でもここは寒いだろううちにおいで
いっしょに晩ごはん食べよう
やきそば
！
ぐうう〜


……おじさん誰？
この坂の下の花屋だよ

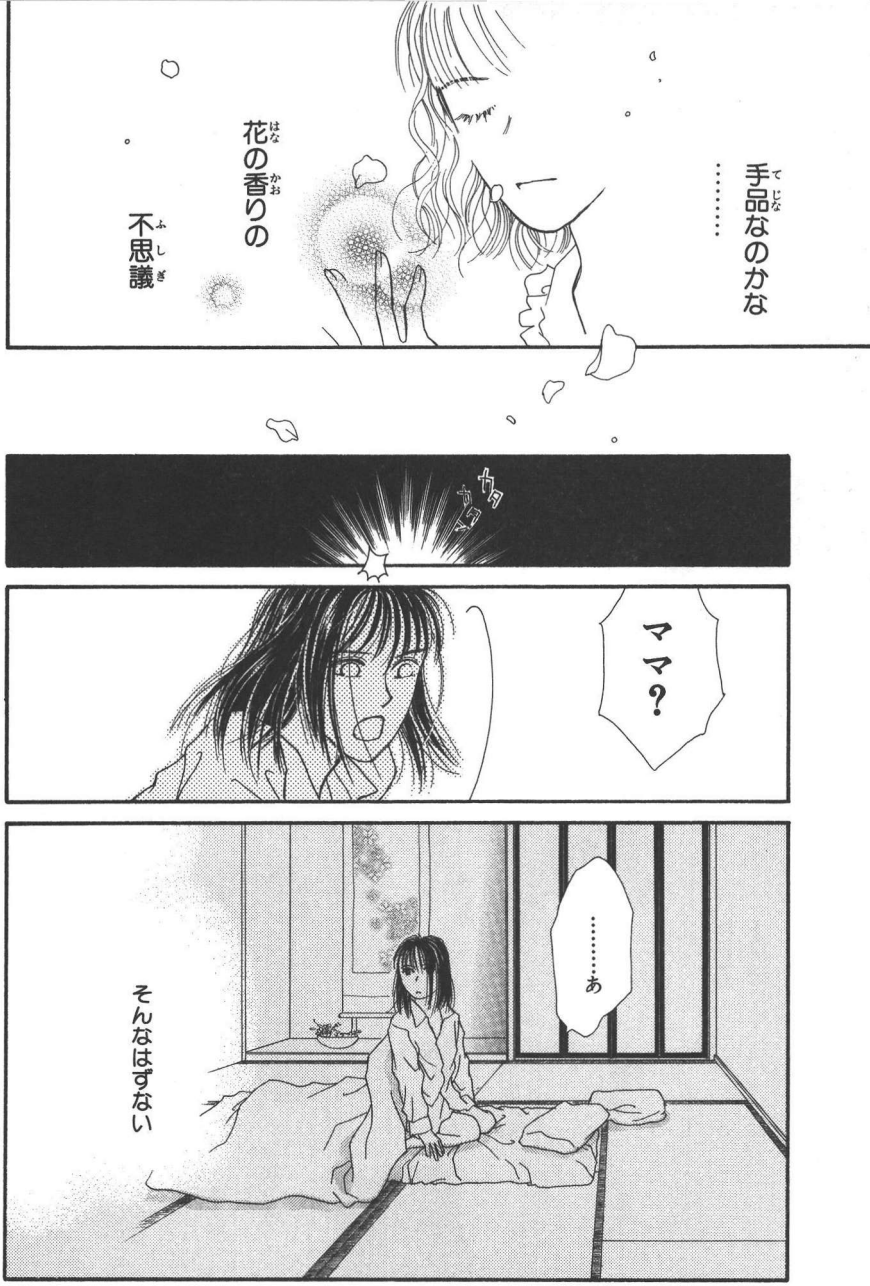

どうぞ入って
誰もいないから遠慮なく
……

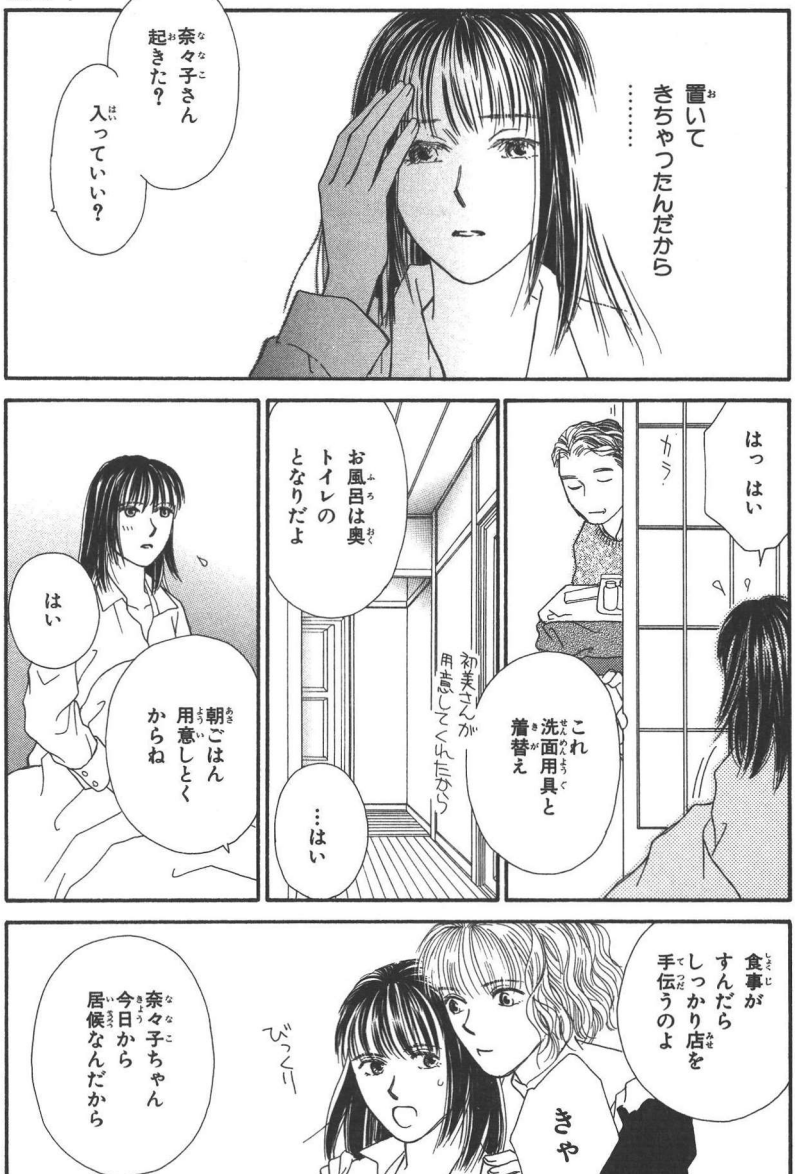

誰かいたほうが安心かな？
あ
ぴろ
ぴろ
……こんばんは
初美さんまたそんな格好で
いーじゃないのー
心配してたのよきのうからあそこにいたでしょ
さあどうぞ
あたたかいうちに
あっ
またそんなもの
もっとちゃんとしたもの食べないと――
はいはい


あ…これ
あなたのぶん？
わたしは
そんなもの
食べません
時間も悪いわ
遅い夕食は
太るのよ
初美さん！
ぴた
食べなさい
いただき
ます
あらやだ
こんな時に
――
コト
きゃ…


や…
な…
なに……!?
こら!
ダン
ダン
ダダン
ダダン
な…なに?
突風(とっぷう)のような
ものだよ
通(とお)りすぎるだけ


初美さん？
ほい
いやな所だわ
日に何度も
こんなことが
あるんだから
ほら
こんなことも
ぱら
ぱら
ぱら
!?
花が枯れ…
初美さん！
呪われてるの
わたし
怖い？
……
…べつに
まるで
手品みたい


手品なのかな……
花の香りの
不思議
カタ
ママ？
……あ
そんなはずない


置いて
きちゃったんだから
……
奈々子さん
起きた？
入っていい？
はっ はい
カラ
これ
洗面用具と
着替え
初美さんが
用意してくれたから
お風呂は奥
トイレの
となりだよ
…はい
はい
朝ごはん
用意しとく
からね
食事が
すんだら
しっかり店を
手伝うのよ
きゃ
びっくり
奈々子ちゃん
今日から
居候なんだから


大丈夫！
ゆうべだって
ちゃんと
手伝ったでしょ
すぐ
寝ちゃったくせに
初美さんは
何も
しなかった！
わたしは
か弱くて
ここにいるだけで
精一杯なの
特に
朝はつらいので
休ませて
いただくわ
じゃ あと
よろしくね
〜〜〜
？
へんなやつ…
チッ
お昼ですよー
おっ


出前でもとろうか？
ダメ！
せめて角のお弁当屋でのり弁当にごぼうサラダとかぼちゃサラダつけてインスタントでもおみそ汁デザートにりんご！
初美さんて……
あたしと同じ歳くらいなのにおばさんみたい
苦労するとこーなるのよ！
キャー
お お弁当買ってきますのり弁3つ？
ふっふ
わたくしそんなものいただきませんのおふたりでどうぞ！
初美さんまた引っこんじゃったんですか？

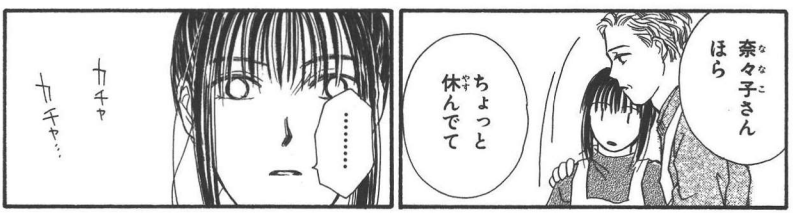

彼女弱くてね
そーは見えないけど
あごめんなさい
いやいや
……おじさんと初美さんて
ん？
あいいえ
初美さんの分もがんばって手伝うから
うん
あたしのこと何も聞かないでいてくれる人によけいなこと聞いたりしちゃダメだよね
変わってるけどいい人たちだし
なんかいっしょにいて楽だし…
おじさんラッピングがすれてるけど手品しっぱい？


水かえて来ます
水草 ¥280
つるっ
あ
やっちゃった…
これ
？
忘れもの
ぱしゃ…


あ
あ…
ママ?
きゃああ


奈々子さん?
どうした?


見まちがい…？
あんな――
……

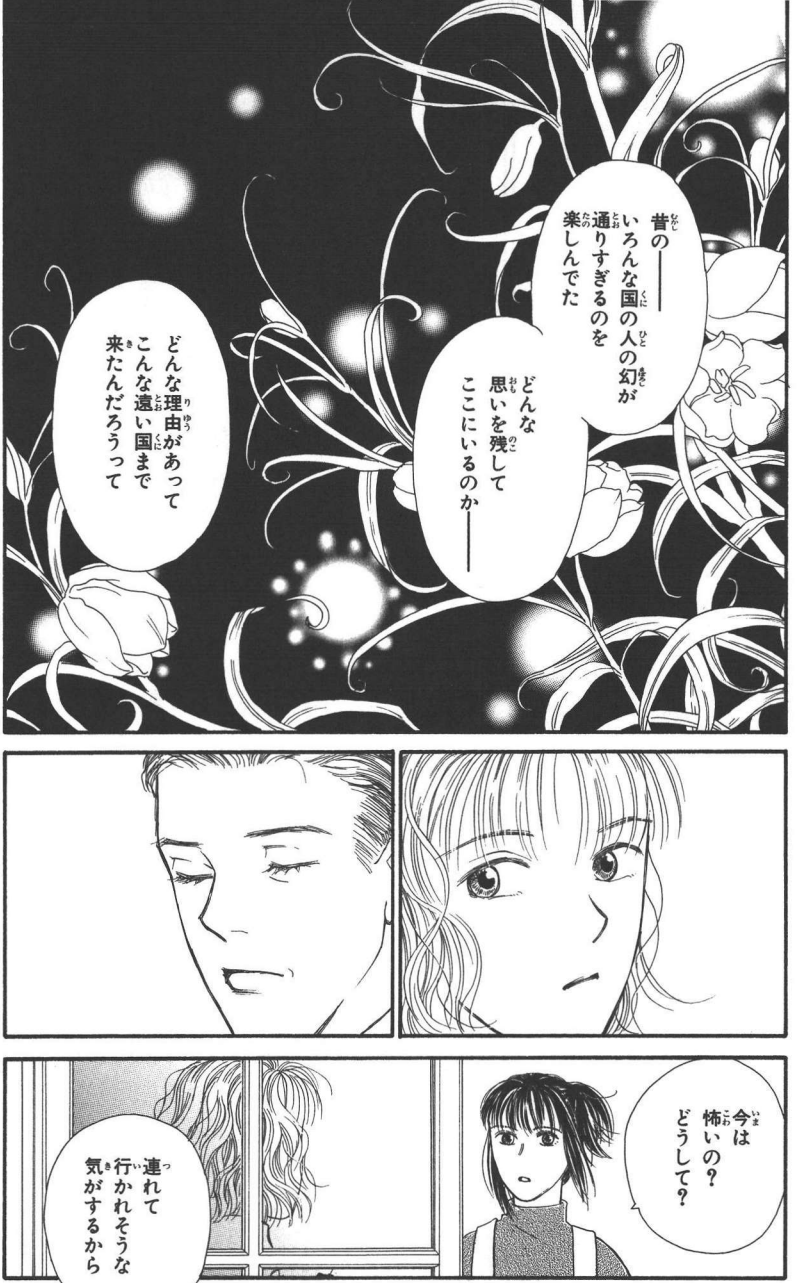

奈々子さん
ほら
ちょっと
休んでて
……
カチャ
カチャ…


あ
ごめんなさい
どこも
ケガしてないね
うん
ギー
ならいいんだよ
――あたし
変なもの
見たの……


電気つけて
なかったね
この時間は
ものを
見まちがい
やすいんだよ
見まちがい？
パキ
パキ
黄昏時の
うす暗がりで
見えないはずの
ものが見えたり
そこにあるものが
見えなかったり
精神的にも
あやふやな
時間なんだね
じゃあ
あれも
夢だったの
かな
ここは
場所が
悪いん
だってば
ほら
ミルクコーヒー
あま
顔色
悪いわよ
大丈夫？


うん…
ありがと
ここの前の道は
昔は
海から続く
一本道だったのよ
坂の上には
外人墓地なんかあって
変なものが
通りやすいの
公園っぽくて
怖くなかったけど
……
変な人も来ないし
と
古い墓地で
縁者が
いないから
お墓参りする
人間もいない
ほら
行き来するのは
亡者ばかり
……
花にひかれて
寄ってくけど
商売相手には
ならないわね


幽霊？
……
他のなんなのよ
きのうから変なこともいろいろあったでしょう
あの手品みたいなの――？
でも怖い感じしないけど
鈍いんじゃない？
そこの交差点は交通事故の名所だし
初美さん奈々子さんを怖がらせるのやめなさい
うそ？
ホントよでもわたし前は怖くなかったな


昔の——
いろんな国の人の幻が
通りすぎるのを
楽しんでた
どんな
思いを残して
ここにいるのか——
どんな理由があって
こんな遠い国まで
来たんだろうって
今は
怖いの？
どうして？
連れて
行かれそうな
気がするから


奈々子さん
怖かったら無理しなくていいんだよ
ああ ううん
なんか本当のこととは思えないし
本当だってば
平気

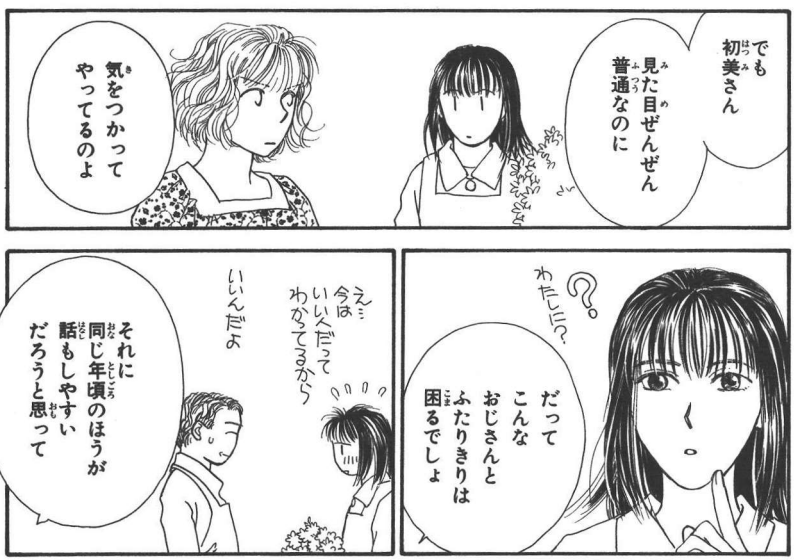

夢の中にいるみたい
まだ
ここにいたい
目を醒ましたくない
じゃがんばって働きなさい
はい
初美さん


外寒いよ
カゼひいちゃうよ
寒くないからいいの
何してるの？
昨日も今ごろ外に立ってたよね
人を待ってるの
3か月前の夜11時25分ここを赤い車で通った
わたしを殺した人を
…轢き逃げされたのよ
目撃者はわたしだけ
地元ナンバーの車
全部は見えなかったけど
いつも通ってた道ならまた通るかもしれないと思って


……そ
うそっ
もう
12時に
なっちゃったわ
今日は
おしまい
おやすみー
ピカー
パパー
NU-NKO
カタン
ガチャ
ガチャ
月6日
23時20～30分
において轢き逃げ事故が
撃、心当りの方は
まで御連絡下さい

坂の下の花屋

見えないはずのものが見える



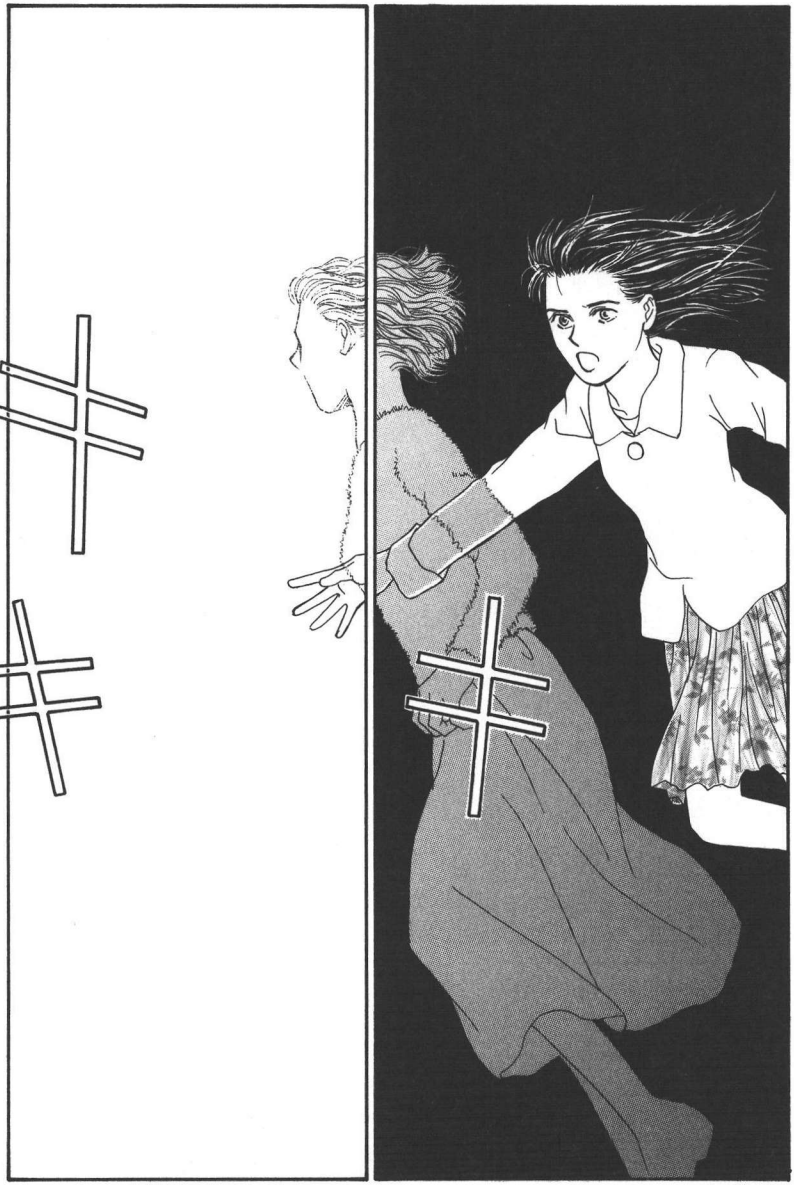

がんばったの
初美さん？
若作りは疲れるわあ
……
おばさんぽいと思ってたらおばさんだったの……？
むう
え…じゃもしかして
おじさんの奥さん？
そう
……
そんなことより今日もしっかり働くのよー
もうここにいないはずの初美さん


おじさんは……
初美さんがここにいて
うれしい？
……
複雑
今夜も赤い車を待っている
初美さん
はあい
幽霊になる人とならない人の差は何？
知らない
でもわたしのことならくやしかったから


死にたくなかったのよ
あたりまえでしょう？
まだしたいこともしなきゃいけないこともあって思い残すことばかり
しかもわたしを轢いといて逃げたのよ？
とっつかまえてぶんなぐってやるんだから
花ビンも持ち上げられないのに？
持てば花は枯れるしね！
……生きてるものと関わっちゃいけないのねホントは
——でもとてもくやしいの


そうじゃない人は……
！
来るわ
え？
来る！同じ感じがする
車？
ナオ……
そうよ！


初美さん
危ない——



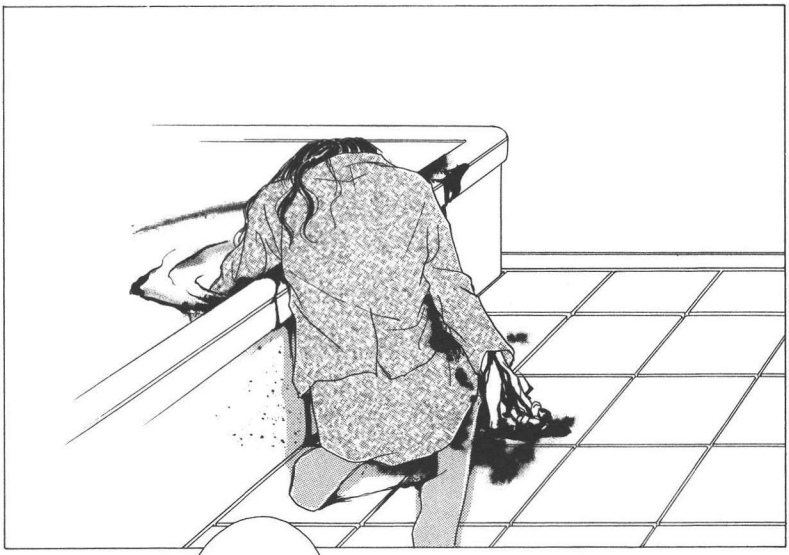



初美…
奈々子さん？
…ばかねえ
わたしが危ないわけないでしょ
…でも
どこ見てんだよ馬鹿
どけよ
轢くぞ
!!


うわ
あっ…
やっと
つかまえた
いっ
今度(こんど)は
逃(に)げないでね
わぁあっ


ファン ファン ファン
彼は君を
嫌うところだった
警察に
そう言って
くれるかい？
どうしたら
いいか
教えて…！
家で
ママが
死んでるの
それを
きっかけに
3か月前のことも
わかるだろう
……
怖かったね
……
おじさん






パパは早くに
死んじゃって
よく覚えてない
ママはいつも
忙しくて
あたしが
高校に入ってからは
朝くらいしか
会わなかった…


でも
あの日だって
ふつうに
いってきますって
……
こんなはずない
こんなことするはずない
家を
とび出したの
なんだか
怖くなって
すごく
怖くなって
あたしの
知ってる
ママじゃない



ママは何も思いを残さず

あたしに
何も求めず

行ってしまったんだ

あたしの
知らないところへ――

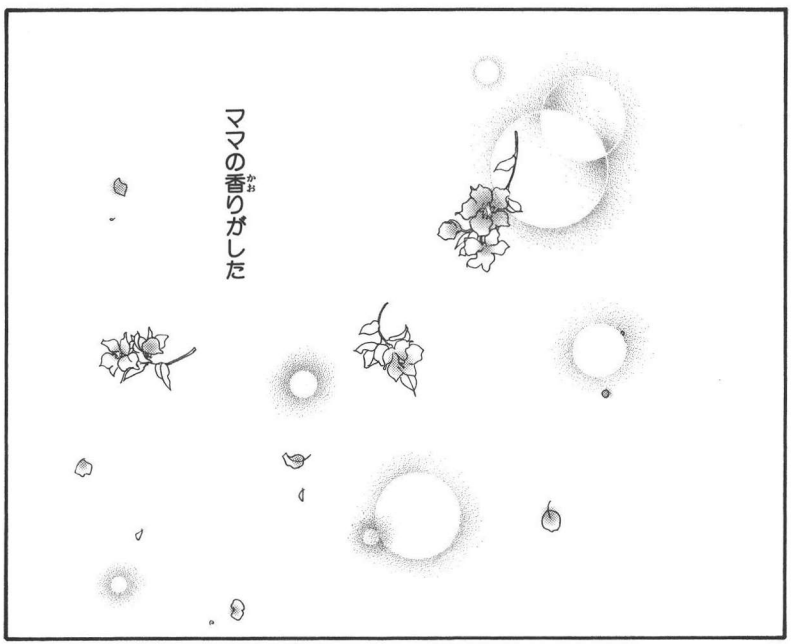

おじいちゃんの所から家出してきたの？
くすくす
ちゃんと花屋さんに行くって言ってきた
…よかったね 轢き逃げ犯自供したって
それでやっとダンナにさよならを言えたわ
！
初美さんいっちゃうの？
それがスジってもんでしょう


あなたにも
さよなら
花屋の
手伝い
続けてやってね
からだに
気をつけて
ごはんを
ちゃんと
食べて
ほんとに
オバサンなんだから
初美さんてば
むう
ばかね
ママには
そんなこと
言ってもらえなかった
――甘えたり
できなかった
嫌われるのが
怖かったの
どんな
相手を好きでも
親子でも夫婦でも
すれちがって
しまうことがあるのよ
悲しいかな
でも
好かれも
しなかったのかな
……
母親の
救けになれなかった
娘さん


母親らしいことを
してやれなかった
母親が――
娘を残して行くのに
いまさら何が
言えるかしら
せめて
嫌ってくれればいい
憎んでくれればいい
こんな
ダメな母親は
いないほうがよかったと
思って忘れて
幸せになって
わたしが
あげられなかったものを
あなたが
自分の力で
見つけられます
ように――
？
ママ……？
初美さん？
……ママ


初美さん…
行っちゃったの？
もう
ここにいない
人からの伝言

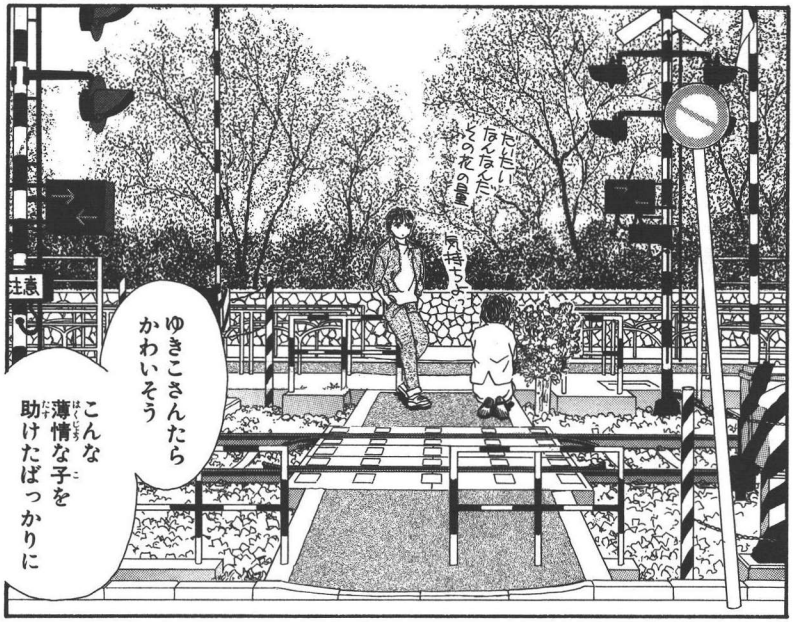

…ありがとう
坂の下から
吹いて来る
風に乗って

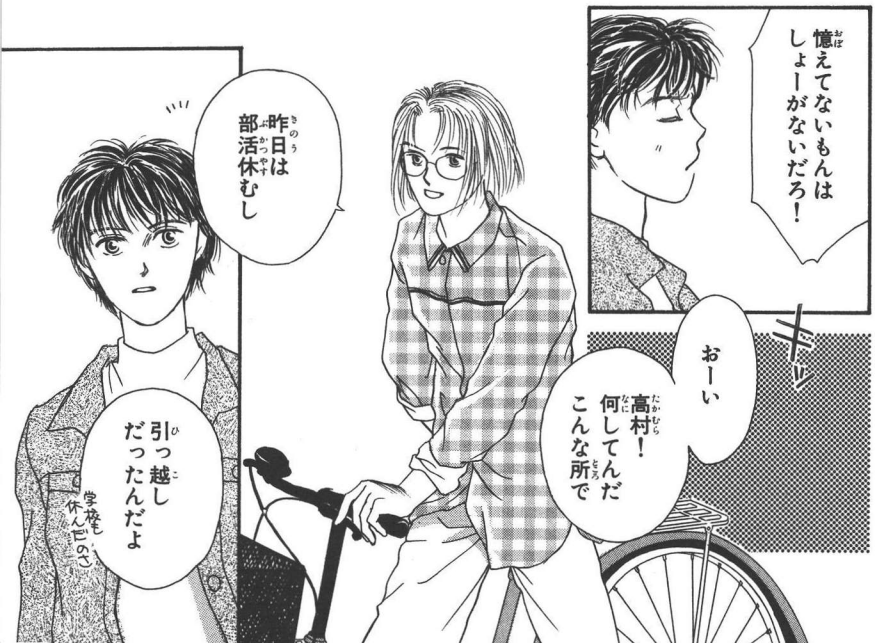

ママの香りがした



佇む記憶


憶えていない？
ぜんぜん
憶えてないよ


ゆきこさんたら
かわいそう
こんな
薄情な子を
助けたばっかりに
注意
たんたん
たんたん
たんたん
その子の音
同じ子よ


憶えてないもんは
しょーがないだろ！
おーい
高村！
何してんだ
こんな所で
昨日は
部活休むし
引っ越し
だったんだよ
学校も
休んだのさ


へえー
おまえん家？
この近くに？
西尾も
この近く？
近く
近く
遊びに
来たー
学校の
お友達？
西尾って…
部活で
一緒なんだ
よろしく
こちらこそ
俺 ヒマだよ
一緒に
西尾に
このへん
案内して貰う
そ
それじゃ
わたしは戻るけど
一樹は？
一樹！


道に迷わないでね！
なに オマエ迷子になりやすいの？
昔の話だ！
4歳の時迷子をやらかして
あの踏切りで死にかけた
4歳までここに住んでたんだ
……
親父の実家を建て替えたんで戻って来たんだけど

――母親と公園で遊んでいた


近くの店に
一人で
お菓子を買いに
行くと言って
言い
はって！
HAHA
——踏切りで
見つかった時
俺は意識不明の
重体
そして…
たぶん居合わせて
俺をかばったんだろう
母の友人の
〝ゆきこさん〟は
即死で——
うーん
やっぱ
憶い出せない
あんなに
なついてたくせに
と
ハハきろう
悪いね
ゆきこさん
高村
おまたせ
——
おはよー
さん
この歳になって
友達と待ち合わせて
学校行くとは
思わなかったな！

悪かったなー
道わかんなくてよー

そうもー
ぜんぜん
サッパリよ

まあね 以前
住んでたって
いっても
4歳までじゃ…

高村
足のそれ
…血？

え？

わ！

ケガなんか
してないぞ？

鼻血？

はっ？

拭くもの
持ってないや
学校まで行こ

見栄わる…

ほんと
うしろ
乗んな！

のろーっ

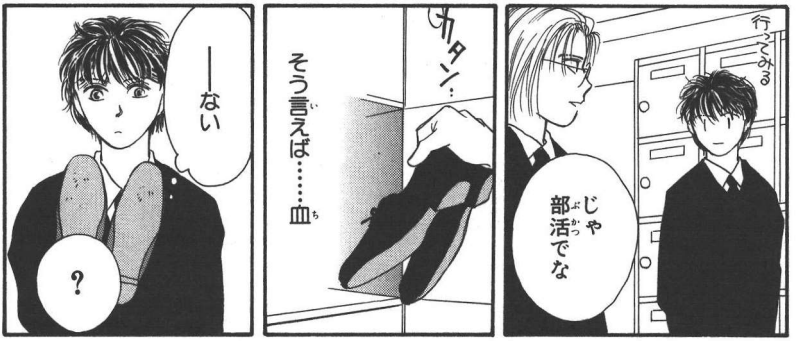
やかましーわ！

パタッ

タン…




俺も自転車買わなきゃ
ずっと電車通学だったから
帰り見に行ってみる？


行ってみる
じゃ部活でな
カタン…
そう言えば……血
——ない
？

気のせいだったのかな……


キーン
コーン…
おっと
現国(げんこく)
うるさいからな
あわてろ
カーン
カン
カン
カン
カン
なんだ――?
!!


一樹(かずき)くん――
あ……
ガシャーン
きゃ――っ
わあ


だっ…
大丈夫か 君ッ
……
どうしたんだ?
わあ わあ
廊下にあったホワイトボードが急に……
バカな
今のは……なんだ?









あの音も…

俺の名前を呼んだ——

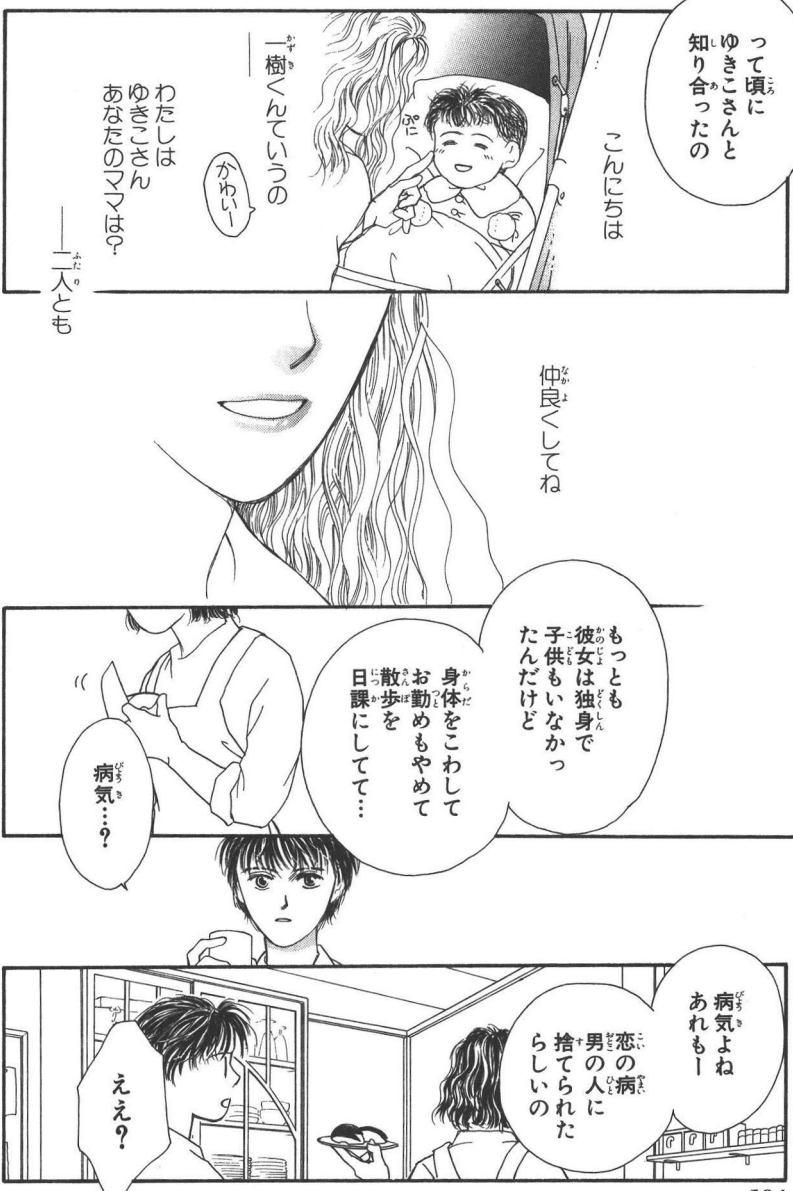
あれは…？



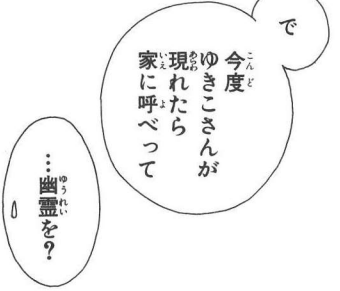
一樹くん


美…
とるわかれても…
錯覚じゃないと思うわ！きっとゆきこさんよ
彼女が守ってくれたんだわ
一樹のこと自分の子供みたいに可愛がってたんだから!!
それ髪の長い美人じゃなかった？
……


ゆきこさんの写真とかないの？
ないの
写真もビデオも嫌いだって…
ふ――ん？
でも大切な友達だったわ
よく公園に子供連れのお母さんが集まってるでしょ？
それで姑やダンナの悪口言うの
毎日毎日――
ああうんざり!!
ダ


って頃に
ゆきこさんと
知り合ったの
こんにちは
ぷに
かわいー
一樹くんていうの
わたしは
ゆきこさん
あなたのママは?
——二人とも
仲良くしてね
もっとも
彼女は独身で
子供もいなかった
んだけど
身体をこわして
お勤めもやめて
散歩を
日課にしてて…
病気…?
病気よね
あれもー
恋の病
男の人に
捨てられた
らしいの
ええ?


それくらいで
思いやりのないっ
パパと同じこと言うのねッ


で
今度ゆきこさんが現れたら家に呼べって
…幽霊を？


でもそれっておまえが危険な目に遇うのが前提なのでは…
中古車
本当に守ってくれてるのだとしたらな

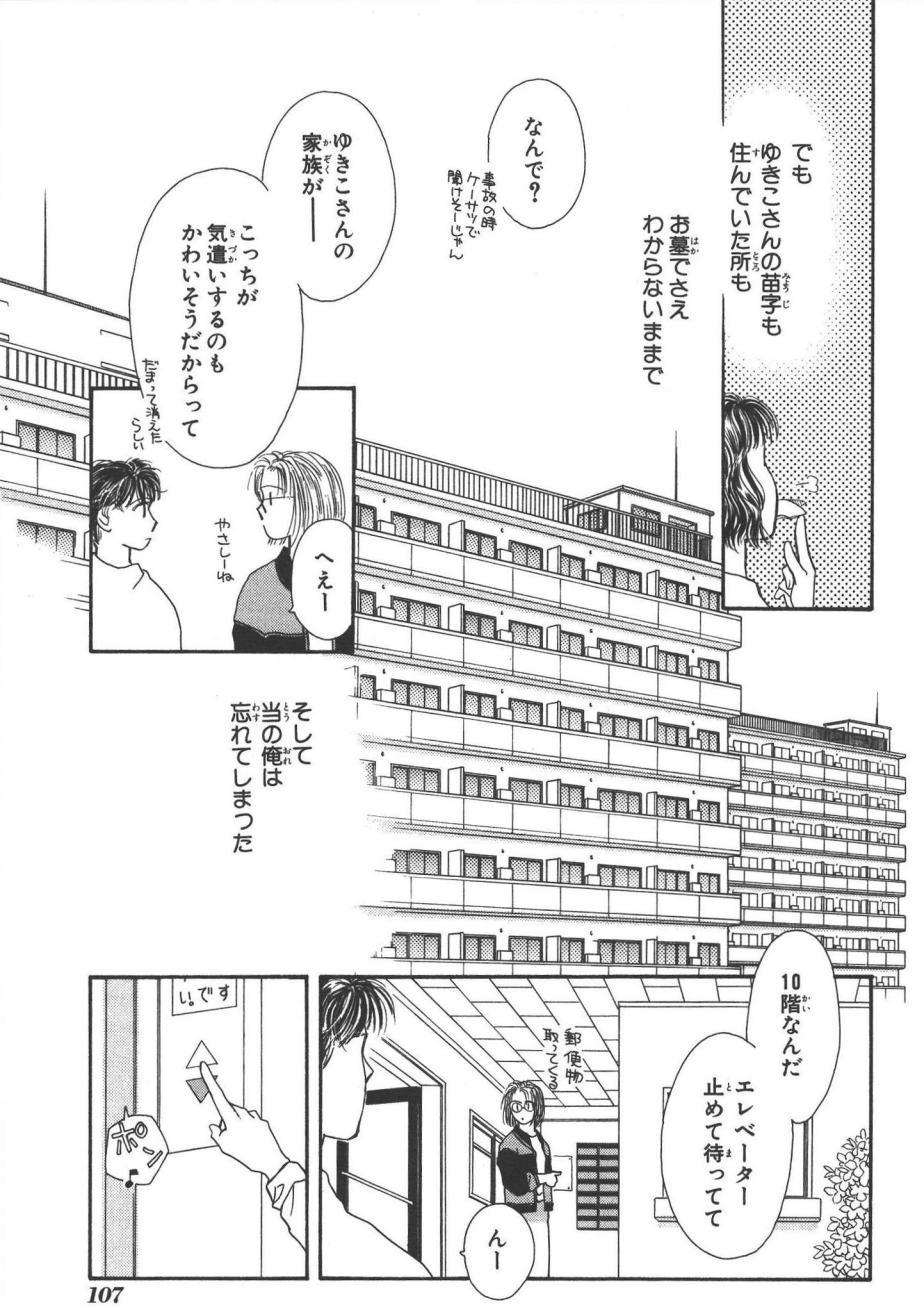

……
死んでくれ高村!!
西…







忙しい
パパのかわりに
買物や映画に
つき合ってくれた
お姑さんより
親身になってくれた


でも
ゆきこさんの苗字も
住んでいた所も
お墓でさえ
わからないままで
なんで？
事故の時ケーサツで聞けそーじゃん
ゆきこさんの家族が——
こっちが気遣いするのもかわいそうだからって
だまって消えたらいい
へぇー
やさしーね
そして当の俺は忘れてしまった
10階なんだ
エレベーター止めて待ってて
郵便物取ってくる
んー
ポン
い。です


ガ
西尾来たよー
おー
おっと人が…
あ
先に行くか
すみません——
ボタ…
ワイ…ン…


わっ？
あ……
一樹くん――
ガアアアア
!!
早い……
12
13
R


止まっ……
メキ
メキ
ガクン
…あ…！

落ちる…

下に叩きつけられる!!

非常停止

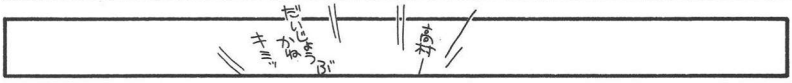
常夕止風募
非刑侍係避

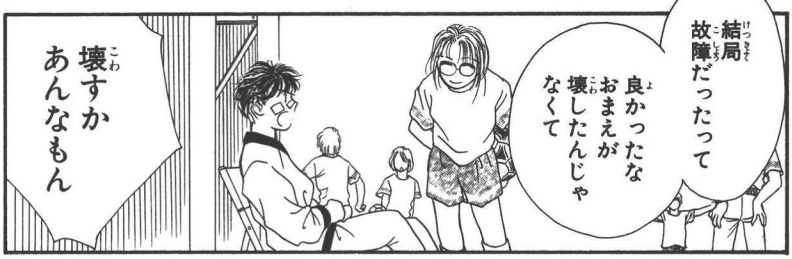
あれを……


ガ
非の際は 左のボタンを押して止した階で扉の指示に従って降して下さい。
ゴ。
ギギゴゴ
ゴゴゴ…
は
はあ…
おいっ
高村ー
いるか
無事かっ？


高村ぁっ…
1階と2階の間で止まったのか
西尾だいじょ…
!?
コッ
コッ
コッ
コッ
コッ…
う…あ…

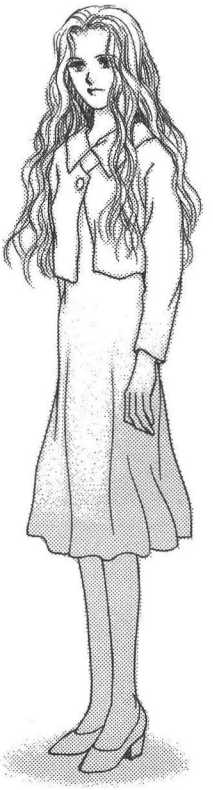



あ…
だいじょうぶかな
キュッ


結局故障だったって
良かったなおまえが壊したんじゃなくて
壊すかあんなもん

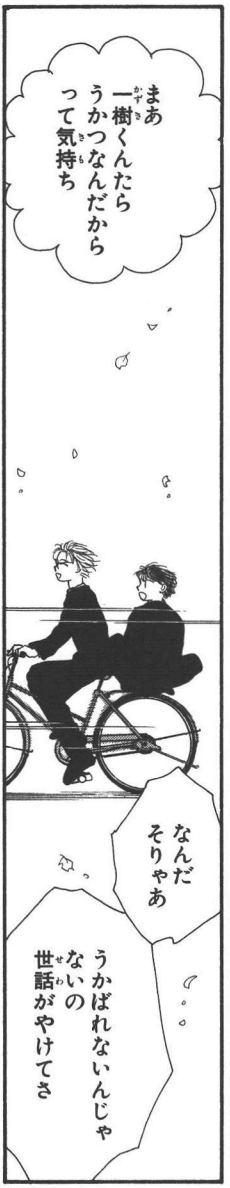

しかしよく助かったよなエレベーターは修理に一週間かかるってよ
天井にブチ当ってめちゃくちゃかかるってよ
……
ゆきこさんが…
やっぱ出たのか？
……

笑って



立っていた






心残りで
ずっと踏切りに
いたのかも
もう一度
会いたかったとか


おまえだって
なついて
たんだろ?
…別れて
帰ろうとすると
大変だったって
泣くわ暴れるわ
…それをまた
ゆきこさんが
なだめて


西尾は
4歳以前のこと
憶えてるか?
少しね
いーのよ
ラクだったから
変の八の
言うことなんか
きかやしないのよう


まあ
あんなもんでしょ
たいていは
きゃー
よっちゃんが
ブランコ
とったあ
おお
あれは
悔しいかも
ん?


みくも入れて
サッカー好きなのえらいねー♡
おにーちゃんたちサッカーやるの…？
…だってマモルくんたちロボットで遊んでてみくと遊んでくれないんだもん
…ああそういう時は
ないしょでロボットを捨てちゃえばいいんだよ
そりゃちょっと…
高村……

なくしちゃえば
いいんだよ

泣かないで

あの子の
新しい三輪車は
あそこ



ほら
なくなった！

あの子
きっとあしたは
一樹くんのところに
遊びに来るわ

高村？

あっ——
と…えと

子供相手に
怖いこと
言うなよー

信じないでね
みくちゃん
さ やろうか

なくしちゃえば
いいのよ

一番大切なもの



あれは
ゆきこさんが
…？

そんなコト
言う人
だったのかな








カタ…
……
シーツっと―
あった
す…
ズドド
…いっ
たっ
た～
なんだ
この厚いの
社員名簿？
まだ
ていに
あってほった
親父の
会社のか
古い――
俺が生まれる
ちょっと
前のだな――


親父
親父
パラ
パラ
パラ
パラ
げっ
若い!!
前髪あるもんなー……
くす
あれ?
ゆきこさん——?
名前がちがう…けど
これは
親父と同じ課の……

母さんは
知らないのか
……？

あ
シーツ
あった？

どか

シーツ
新品

ふり

一枚でいいのよ
一枚で！
大雑把
なんだから　もう

パパと
同じねッ

気の
利かないとこ
とかねー

たまには
早く帰って
おばーちゃん
たちの相手
して欲しいわ

気づまりなんだから

…親父は

ゆきこさんに
会ったこと
あるのか？

ぷに

一度
カゲから
見てたみたい

でも
干渉は
しなかったし

わたしも
あんな美人でいい人
ちゃんと紹介したら
浮気されそうで…

親父がある？


失礼ねっ
は
親父がとーでもゆきこさんが
あれでもずいぶんもてたんだから
はあ…
わたしの時二股だったし
ぱり
知ってて…？
相手までは知らないわよー同じ会社の女だったみたいだけど……
でもわたしの勝ち！赤ちゃんが出来ちゃって
そう 一樹がね
即入籍
即お式
パパ すごく嬉しかったんだと思うわ
まさか——
その相手がゆきこさんだなんてコトは……


捨てられて
仕事やめて
忙しくて
一樹を
かまえないって
ぼやいてたし
踏切り事故のあと
一樹が
つらい思いをしたら
かわいそうだって
すぐ引っ越しを
決めたし
……
ただの偶然だ
きっと
そんなはず
ないじゃないか
聞いてるの!?
……
だから一樹も
たまには
パパの肩くらい
揉んであげ——
でも……
同じ会社に
いたんなら
それくらいのこと
会話に出るだろう
——隠したいなら
別だけど

……

ゆきこさんは
俺と母さんが
誰だか
知らなかったのかも
しれない

偶然
友達になって
――

たぶん
あとになって
知ったんだけど

隠して……

友達を
続けたのかも
しれない

あら
あなた

今日は
早かったん
ですね

一樹は？

出かけましたよ
友達と約束が
あるからって

こんな時間に？

大丈夫ですよ
あの子には
ゆきこさんが
ついてますから

!?

知っていて――

ゆきこさん？
なにを
バカなことを…

…ああ

はいはい
冗談です
ゴハン
どうぞ！

それでも
母さんのいい友達で
俺を
可愛がってくれて
ずっと
――

……

心配
いりま
せんよ！

その友達は
いい子だし
西尾くんて
いってね

今夜は あの子
パパの肩を
揉んで
あげるって！

すぐに
帰って
来ますよ

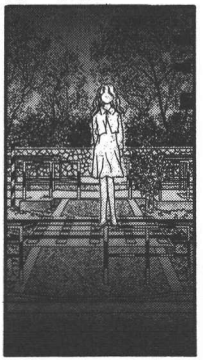
カン
カン

やさしい友達
やさしい笑顔

一樹くん

カン
カン
カン
最後は
命がけで
――

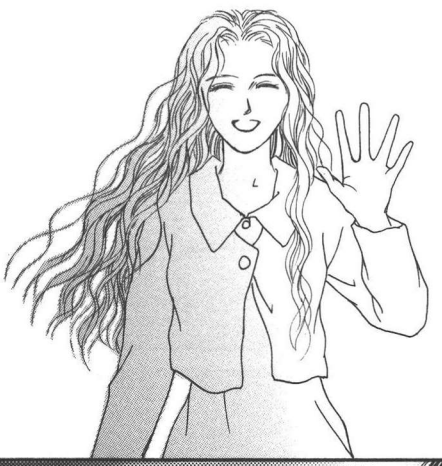
カン

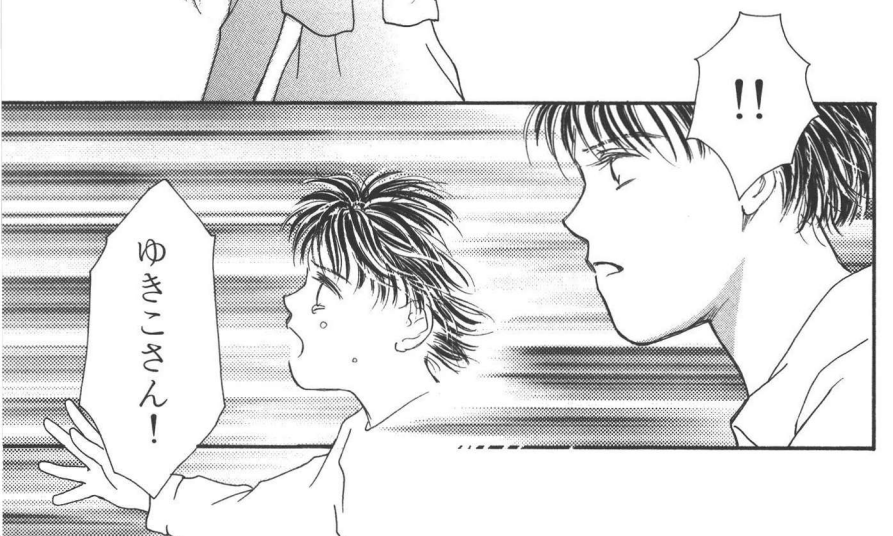


なにもかも
最初から――

そして隠して
友達になって…








ゆきこさぁぁん
わーーーん
これは――
あの日
――ダメだ!!

一樹くん

一樹くんのパパとママの一番大切なものなーに？

ゆきこさんは知ってる——？

知ってるわ

…ゆきこさん……


カッ
あ…!
ゆ…
――う
ハァ…
く……
カン
カン
カン
カン

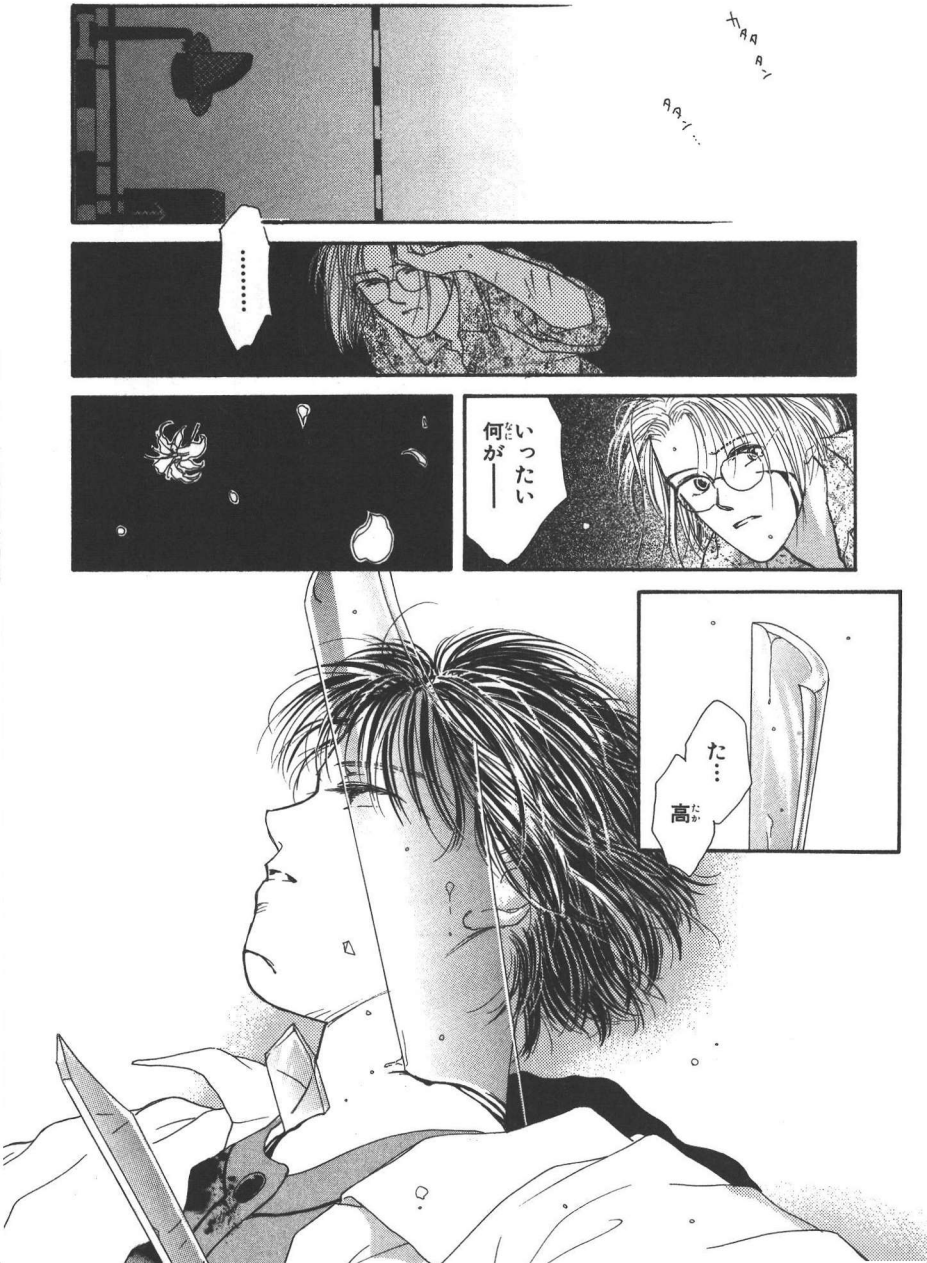

カンカン
カン
カン
カン
電車が――
ゴー…
一番大切なもの
ゴオオオオ
壊したいの――
パアアアン
高村ッ

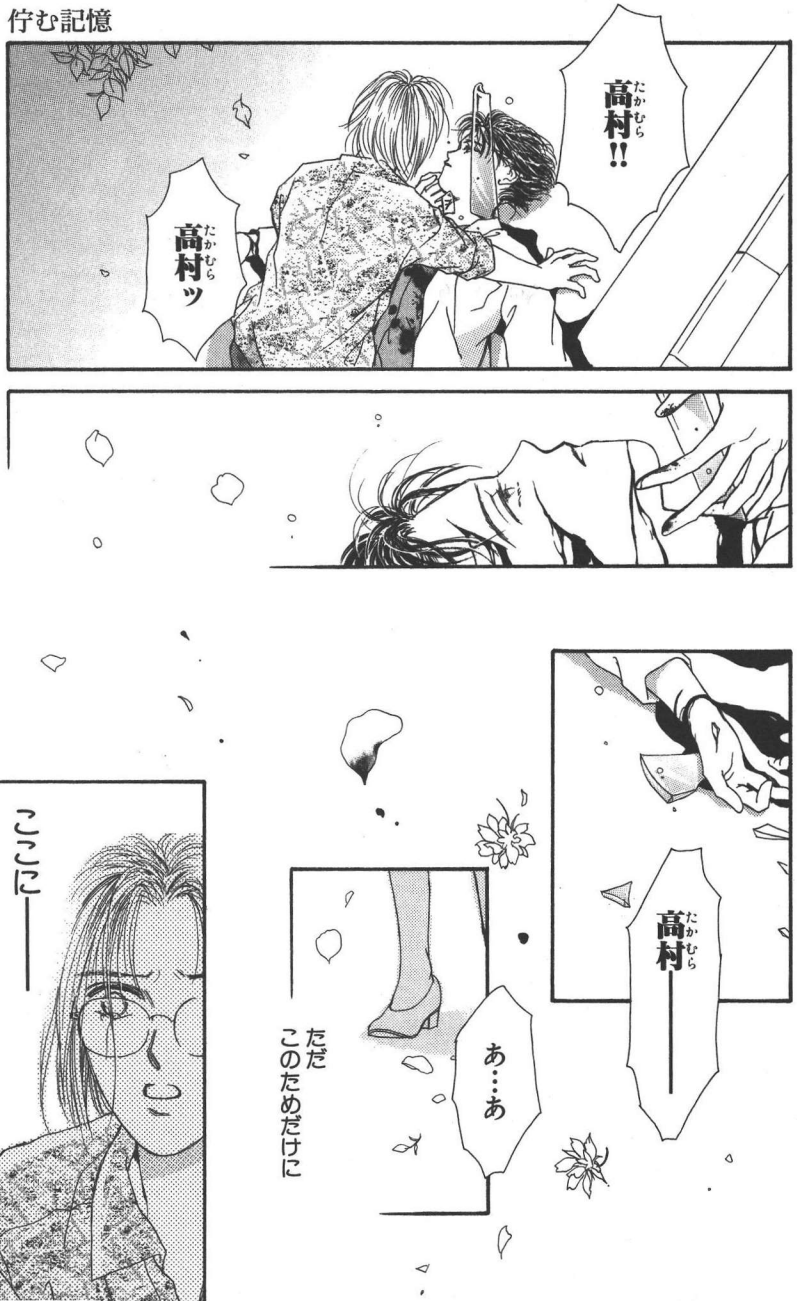

――
何やってんだよ
おまえ…!!
西尾――
死んじまうとこ
だったんだぞ!?


……ゆきこさんが
立ってたんだ
ここに？
今？
あの時…
いつもみたいに
笑って…
手を振って…
踏切りの
まんなかに…!!
俺は
ゆきこさんを
見つけて
嬉しくて走っ…
そのために
ゆきこさんは


ずっと
ただ
そのためだけに
…帰ろう
高村
送ってく
ほら
カン
カン
カン
カン
一樹くん


カ
ナル
ナル
ナル
高村？
ゴ――
カチ…
わっ？
花ビン…
花ビンが――
一樹くん
…ゆきこさ
!!


……
いったい
何が——
た…
高

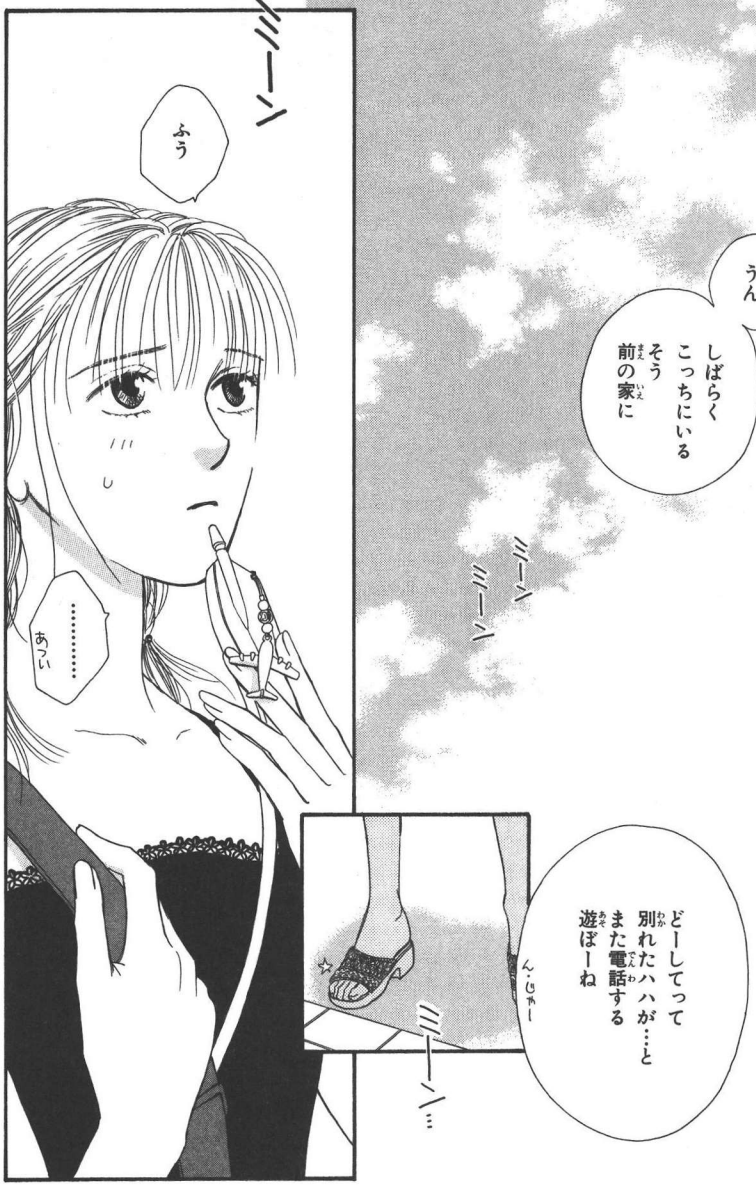

高村!!
高村ッ
高村――
あ…あ
ただ
このためだけに
ここに――

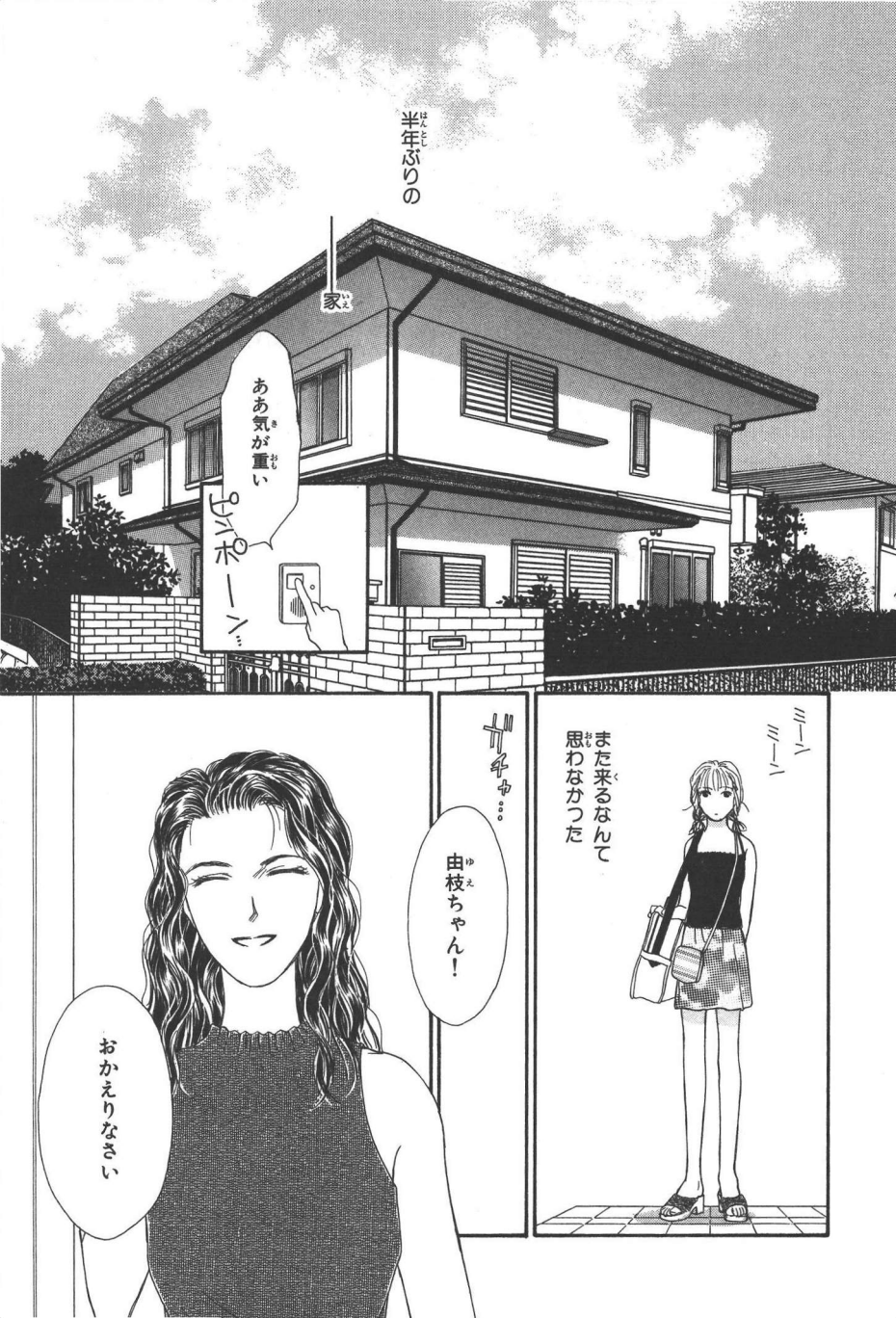


佇む記憶 ―おわり―



夏の家

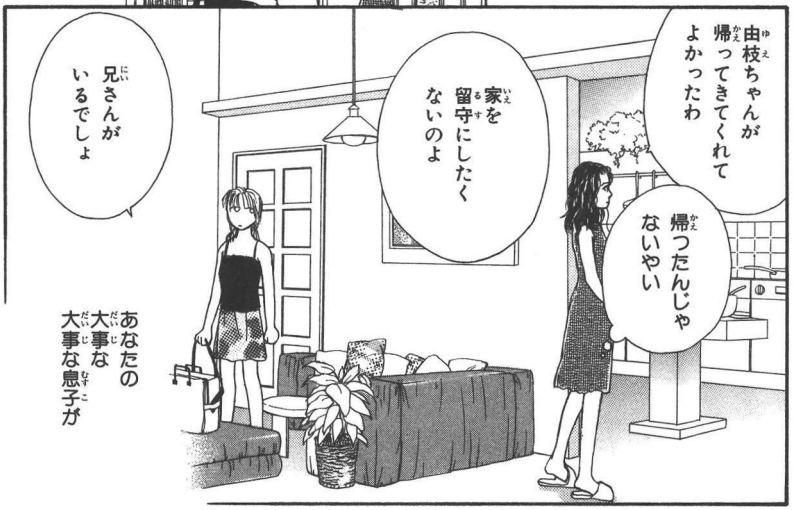

うん
しばらく
こっちにいる
そう
前の家に
ミーン
ミーン
どーしてって
別れたハハが…と
また電話する
遊ぼーね
ん、ひみー
ミーン…
ミーン
ふう
……
あつい


半年ぶりの
家
ああ気が重い
ピンポーン…
ミーン
ミーン
また来るなんて
思わなかった
ガチャ…
由枝ちゃん！
おかえりなさい





あいかわらず
――――

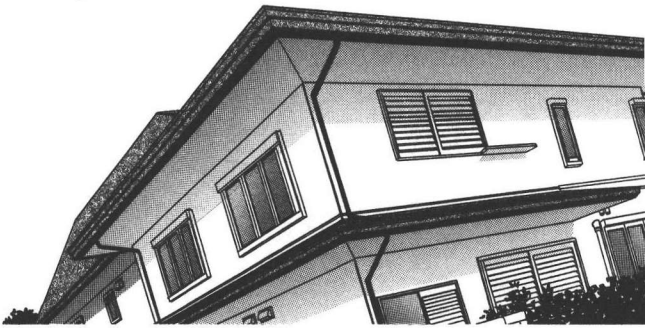


あなたの
大事な
大事な息子が


その貴和が
帰って来た時に
わたしがいないと
かわいそうでしょ
あいかわらず
あたしのことなんか
何も考えてないんだ
……そんな
いつ帰るか
わからないよーな
遊び方をする人に
なっちゃったわけ？
やいやみ
ろくでも
ないことに
時間を使う子じゃ
ないわよ
ろくでもない
友達も
いないし
……
いい友達も
いないでしょ
いつも家にいて
ゲームやってるか
パソコンいじってるか……
!!


帰って来た
え？
兄さん
どこに？
そこ
庭の
——
カラッ
いないじゃない
あれ？
どこに？
本当にいたの？
貴和
貴和？

どこにいるの――




カフェテリア ハンバーガー
あのヒト
変だよ パパ
2週間も
帰ってこない
兄さんも変だけど
家から1歩も出ないで
ただ待ってるんだよ?
仕事もやめて――…
捜索願いとかは
出してないって
トレーはこちら
もえるゴミ
PUSH

家出なんか
するはずないって
言い張って……

あの子のことだもの
何か考えがあるのよ

元気そうだった？
……そう

やっぱり
由枝ちゃんに
来てもらって
よかったわ

由枝ちゃんは
貴和の
お気に入り
だったから

ふん

あいつはね
——

1人で
遊ぶのに飽きると
あたしを
いじめてね——

あれっ
由枝ちゃん？


…だれっ
知らないか……
高校は
君の兄貴と
同級だったけど
もとうか？
けっこーです
……でも
友達じゃ
ないでしょ？
話くらい
したことあるよ
君のこと
紹介してくれ
……とか
駅で
見かけた時に
……
勝手な真似
するなって
にらまれた
大事な妹
なんだなあ
と・印象に
残ってるわけ
です
たぶん
ちがう

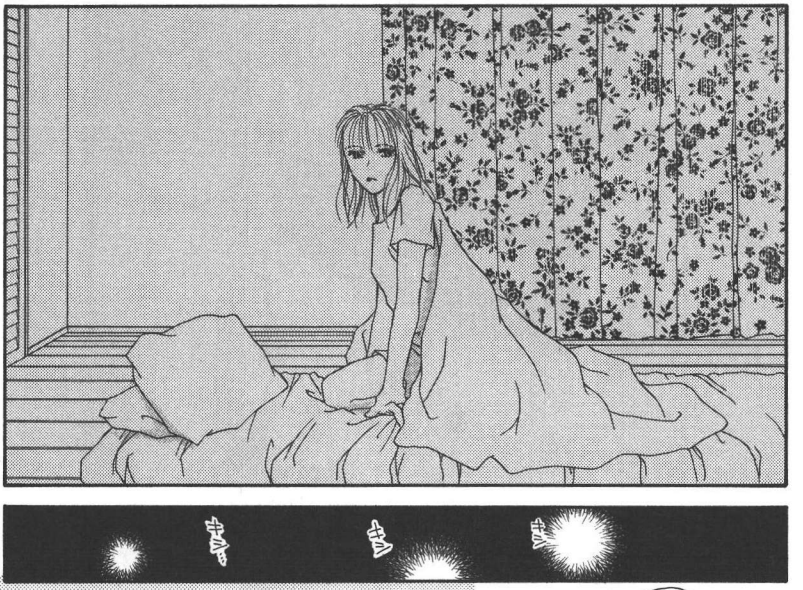

独占欲が強くて横暴なだけ
あたしなんて部屋一杯のオモチャと同じよ
大事でもお気に入りでもない
でも自分のだからさわるなってトコでしょう
――ま泣いたりするぶんおもしろかったかも
こんじょーわるめー
こんなかわいー妹泣かすなんて
信じられない
でも君のとこ両親が離婚したとか聞いたけど
あたしは父と引っ越したの
離婚の時のとり決めで母親の所に遊びに来てて……
じゃあしばらくこっちにいるんだ

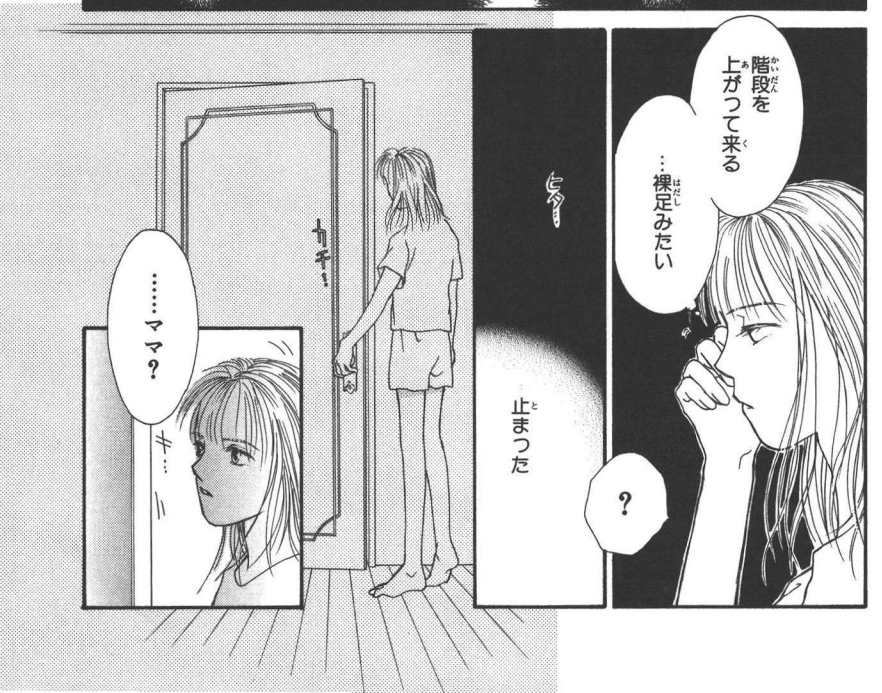

デートに誘っていい？
……うん
最初からこうすればよかったんだ
ミーン
ミーン
じゃ電話するねー
♪
カチャン…
ピン
☆
いっ……
カッ
石——？


いたァ――
あっ血だ
なんで
こんな
くくっ…
兄さん
帰ってる？
由枝ちゃん…
貴和が…？
いるでしょ
あのやな感じは
あいつよ
あたしに
石ぶつけ
たんだから
由枝ちゃん
！


お兄さんを
あいつなんて
言わないの！
それにあなたに
石をぶつけたり
するわけないでしょ
するわよ！
人が
見てないとこで
あいつは――
ヒソ
ヒソ
カツ
いやだわ
突風かしら
……
もしかして
2人で
あたしを
からかってるとか
……
なに
馬鹿な
こと！

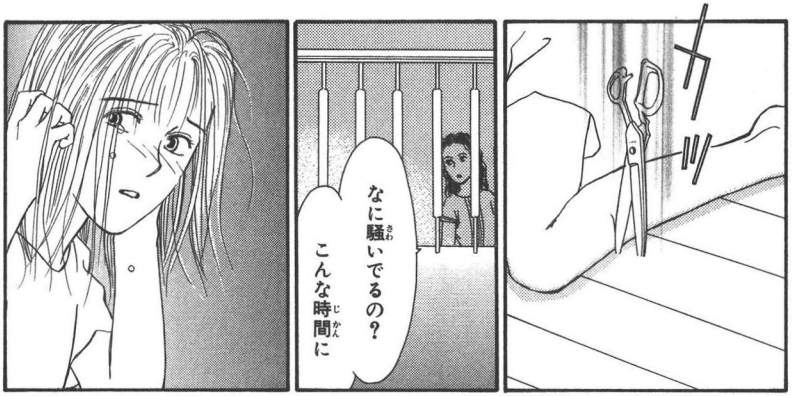

そんなことして
なんになるの
この家には
由枝ちゃんと
あたし以外
誰もいないわよ
子供ねえ
あいつなら
やりかねないん
だから
ただ自分が
おもしろいってだけで
……それに
ママは昔から
あいつの言うことなら
なんだってきくじゃない
キシ

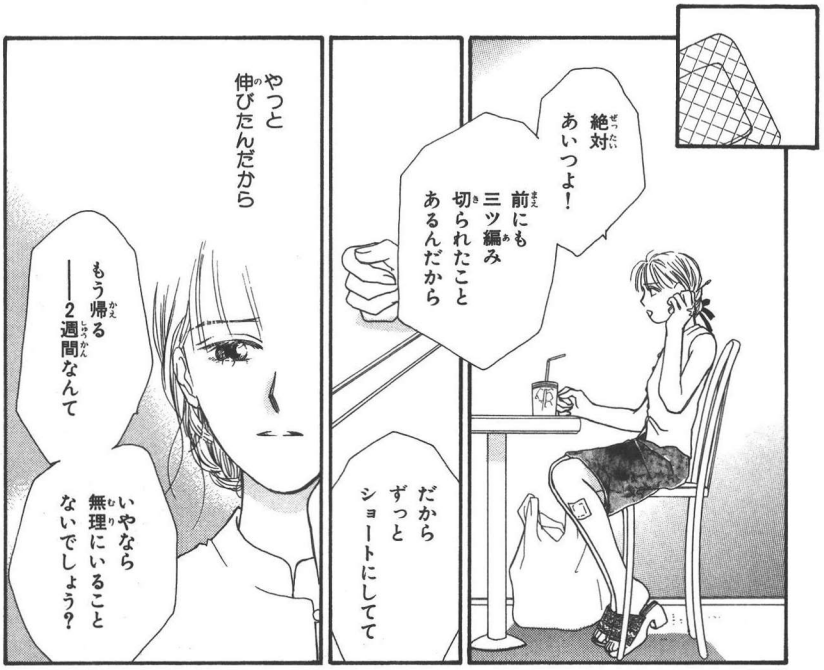



階段を上がって来る
…裸足みたい
ヒタ…
?
止まった
カチ…
……ママ?
キ…


きゃ
な……
？……
……兄さん？
……
なあ…


いない…
なに考えてんのあいつ——
……や
やだっ
やめて
やめてよ
いやあ
由枝ちゃん？


カッ
なに騒いでるの？
こんな時間に
。


絶対
あいつよ！
前にも
三ツ編み
切られたこと
あるんだから
だから
ずっと
ショートにしてて
やっと
伸びたんだから
もう帰る
——2週間なんて
いやなら
無理にいること
ないでしょう？


だいたい
パパが……
帰ること
ないじゃないか
兄貴も
手間ひまかけて
かまってるの
うれしいんじゃないの
妹が来て
あっイッパおちゃめだ
ゴザ茶
かわいい!!
そんな
かわいい人じゃ
ないって
母親が甘やかして
なんでも言うこと
聞いてやって
育てたもんだから
ワガママな
王様みたい
うーん
たかにフライド有そうだった
どした?
もう
戻らなきゃ
母親が
うるさくて
『茶夢を捜して!』
また
あした!


……
家が
いやなら
うちに
泊まりにおいで
1泊
キス1回に
まけとく
くす
また
あした


あんな人が
兄さんなら
よかったのになあ
おまえなんか
いやなこと
思い出した
盲腸なんかなるから
俺が迷惑するだろ
店屋ものとか
インスタントの食事
嫌いなんだよ
ママが来たのは
手術の日だけだったじゃない


おまえのために
1日だって
我慢なんかしたく
ないんだよ
だいたい
生まれて
来ただけで
邪魔なんだから
うー
いたた
身体が
思い出した
手術あとなぐるんだもん
やっぱり
帰ろうかな
ちょっと
おしいけど
……
由枝ちゃん
当日の友達にも
会ってないけど
どうしたの
門の前で
ぼーっとして
頼んだもの
あった？
うん…


肥料に
鞍石
底浮
水づけ
でもママ
今は
なんだって
通販で
買えるのよ
それも
考えてるわ
仕事だって
家で
できるのを
探すし
……じゃあ
あたし
帰っていい？
あら
ダメよ
貴和を
見たんでしょ
見たって…
いるじゃない
ここに！
どこに？
とぼけないでよ
本当に——
じゃあ
どうして


わたしに会いに来てくれないのかしら
……ママ
血!!
え?
あ…
見まちがい?

夕日が反射して……?
とか。
さ夕飯の用意しなきゃ
由枝ちゃん何が好き?
ね帰っちゃダメよ


貴和は由枝ちゃんが好きなんだから
それはマジでちがうし
娘の好物も知らない母親

ママが
兄さんに夢中なのは
兄さんが生まれた頃
パパが浮気してたから

——パパは反省して
あたしは我慢して

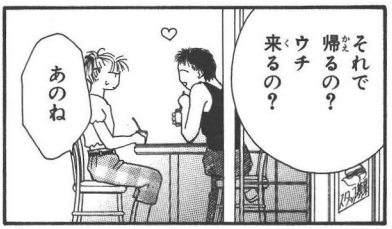
でも
ママは
変わらなかった




また……
？
…
あれ？
もし
もし？
ザ…
くす。
勝手な真似
するな
ガッ
ガッ
うん
俺にも
聞こえた
声が……
君の兄貴の声か
どうかは
よくわからないけど


あたしには
わかる――
あの
えらそーな声
笑い方
そりと
しちゃった
しかし
本当に
手の込んだ
いやがらせを
どーやって
通話に
割り込んで
きたんだ


凡詰よー
でもさ
おびえてると
相手の
思うツボ
なんじゃないの


それで
帰るの？
ウチ
来るの？
あのね

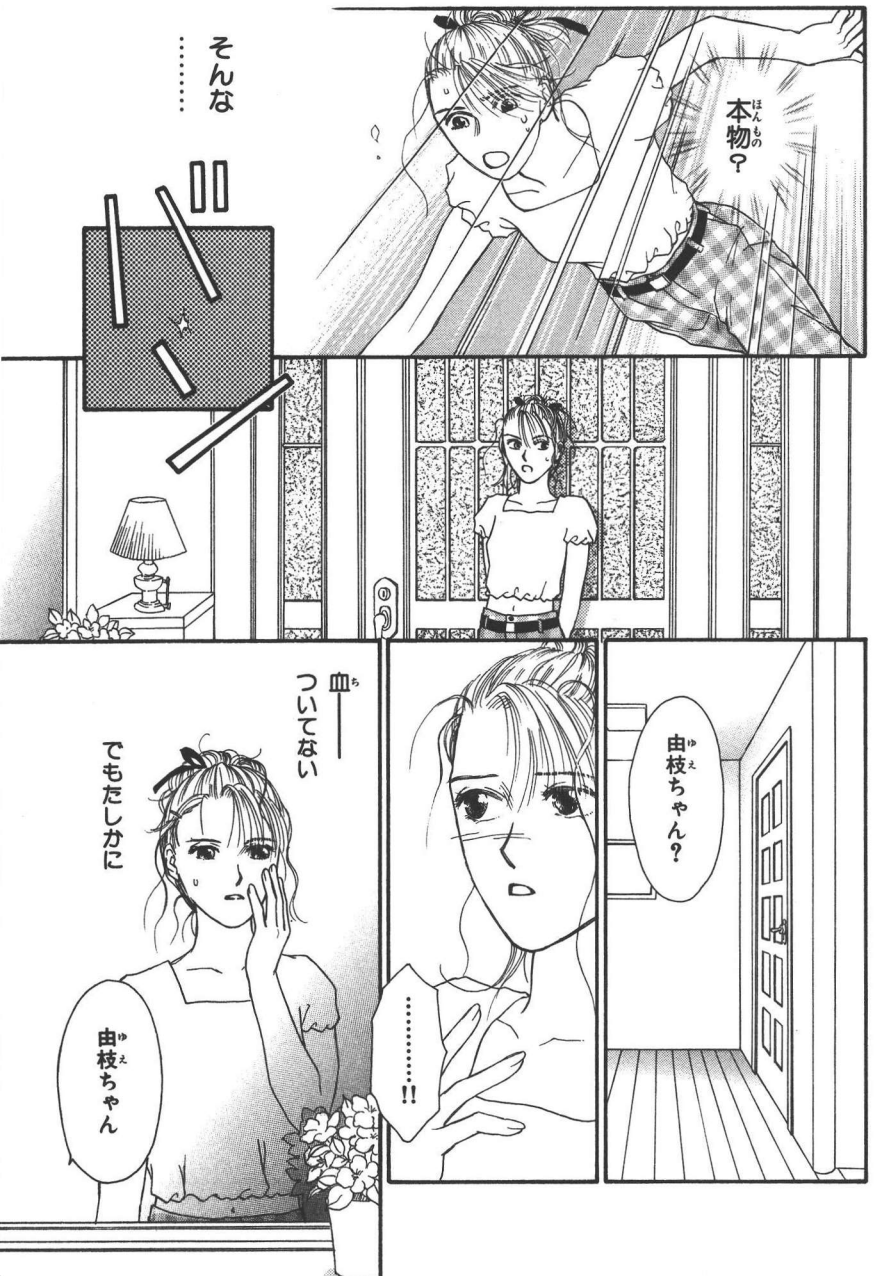

うん……
昔っからの
くせで
ついおびえちゃう

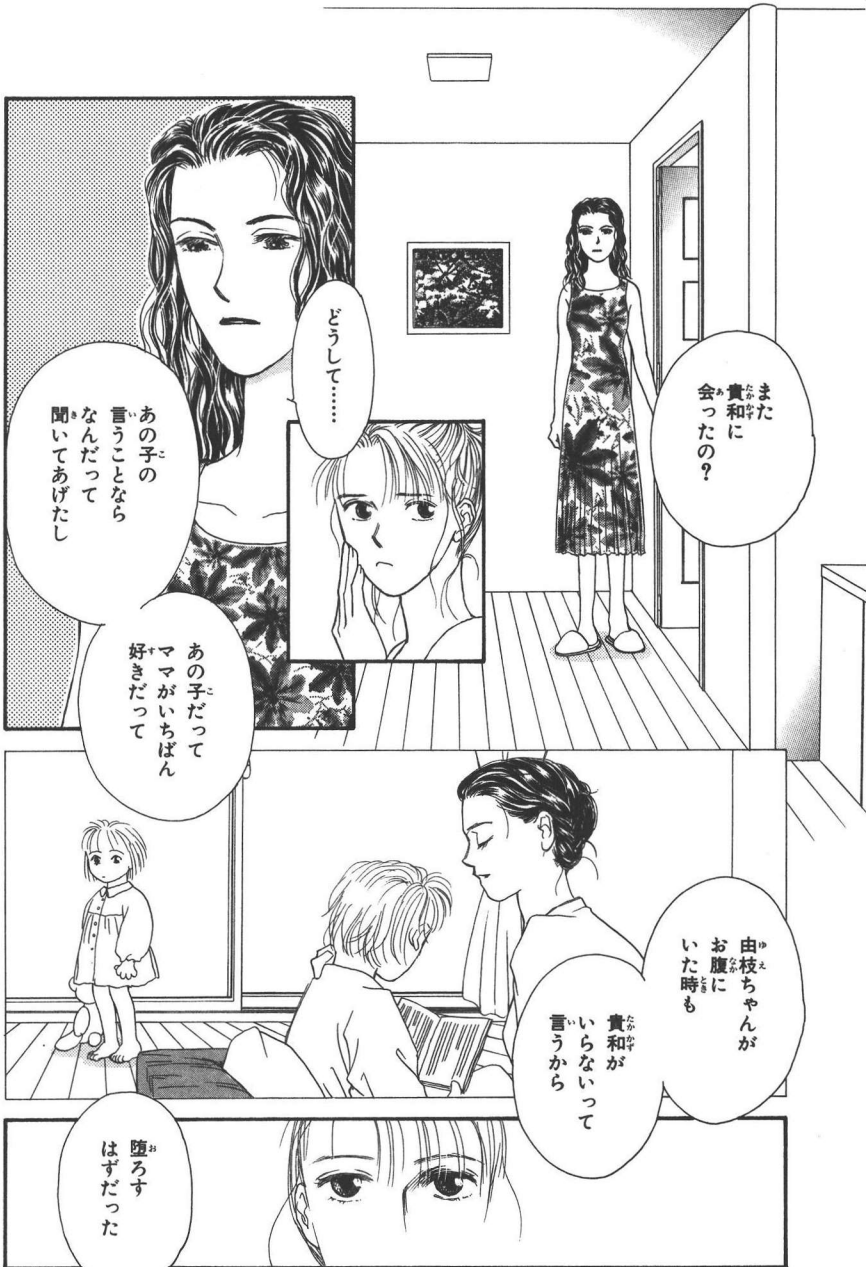

きゃーって叫べば
とりあえず
来てくれるよ
度が過ぎるような
警察に通報する
くらいの気持ちでさ
がんばれ

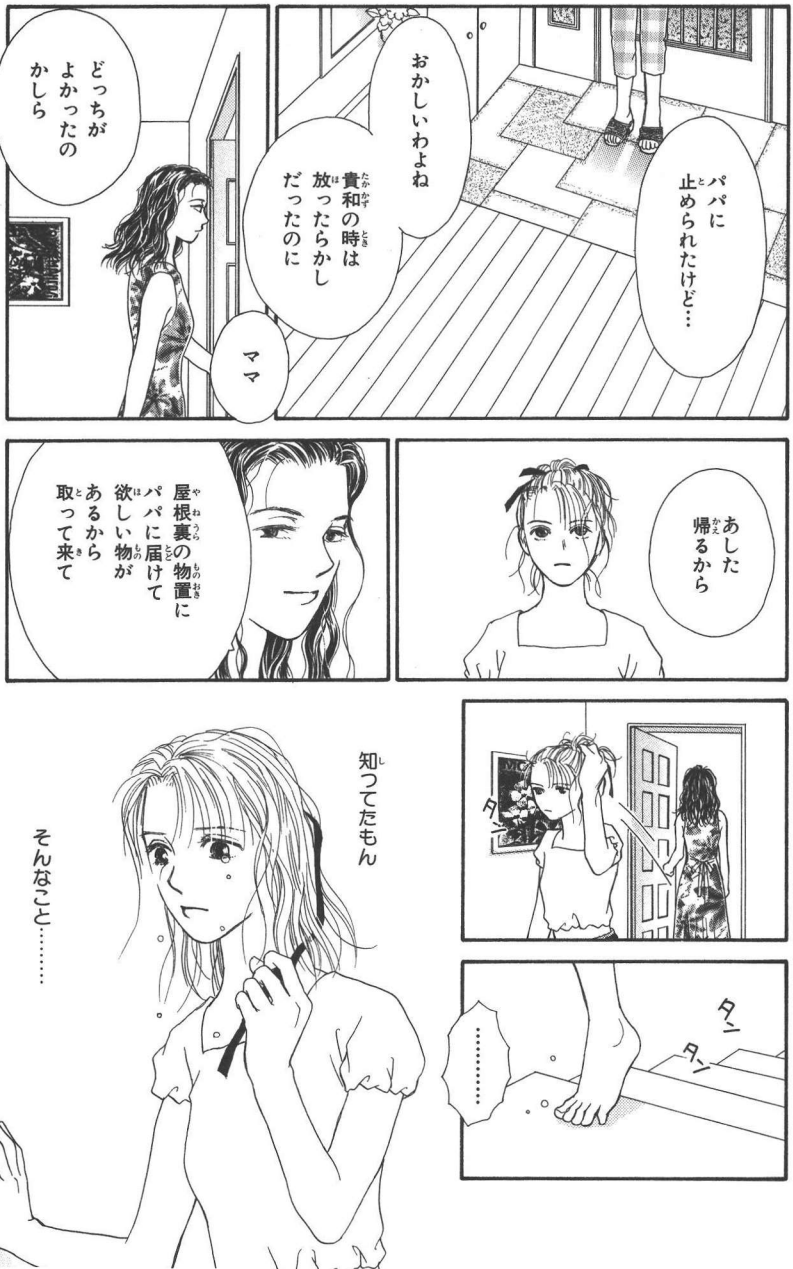

バカなことする
――って
笑いとばしてやれよ

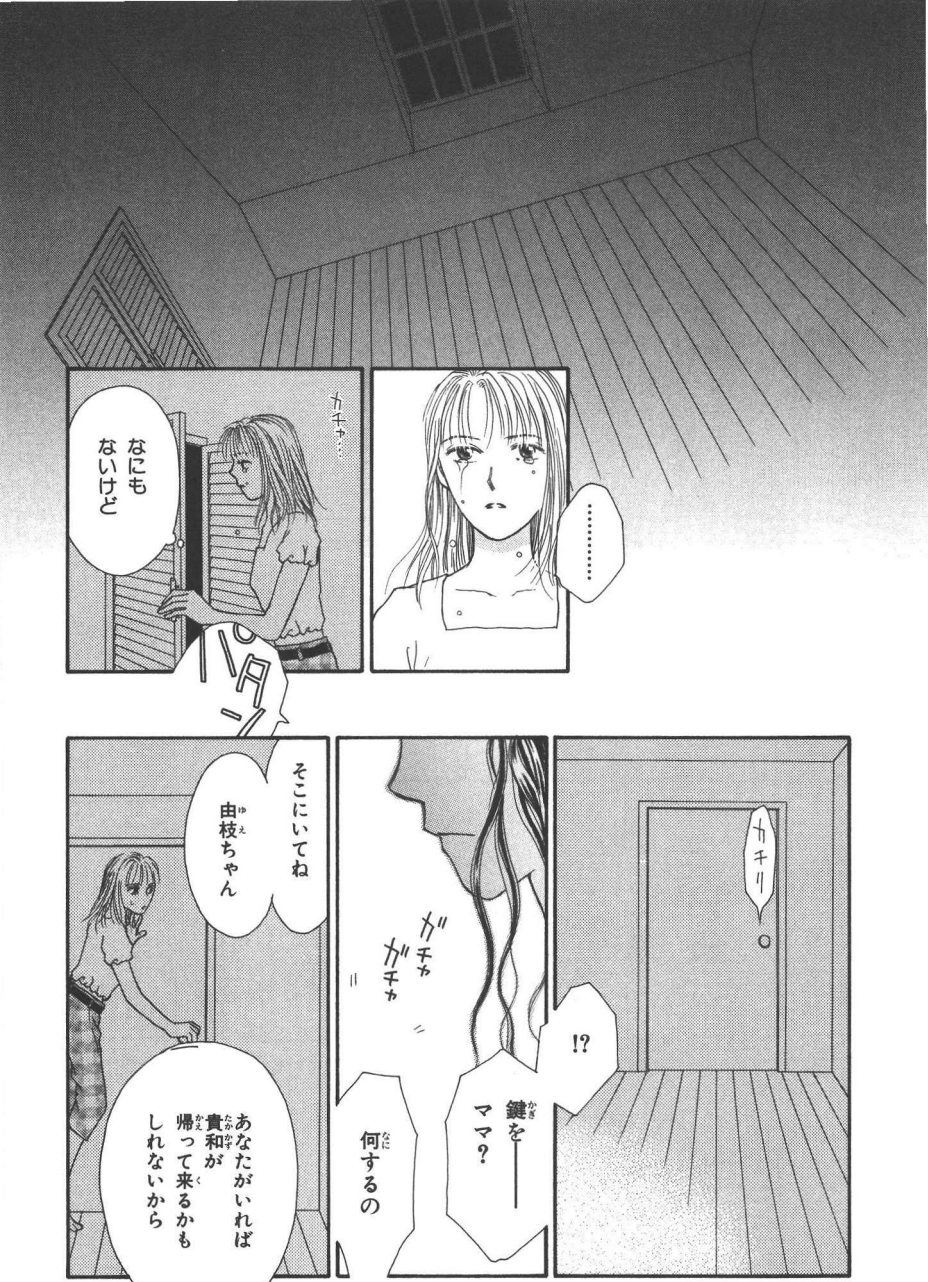

帰る前に——
カタン
1度くらい
顔見て
文句言ってやりたい
ガーン
……
た
貴和の
ば……


なんだって？
由枝
きゃああ
血の
匂いがする——


由枝ちゃん？
……!!
血――
ついてない
でもたしかに
由枝ちゃん
本物？
そんな……

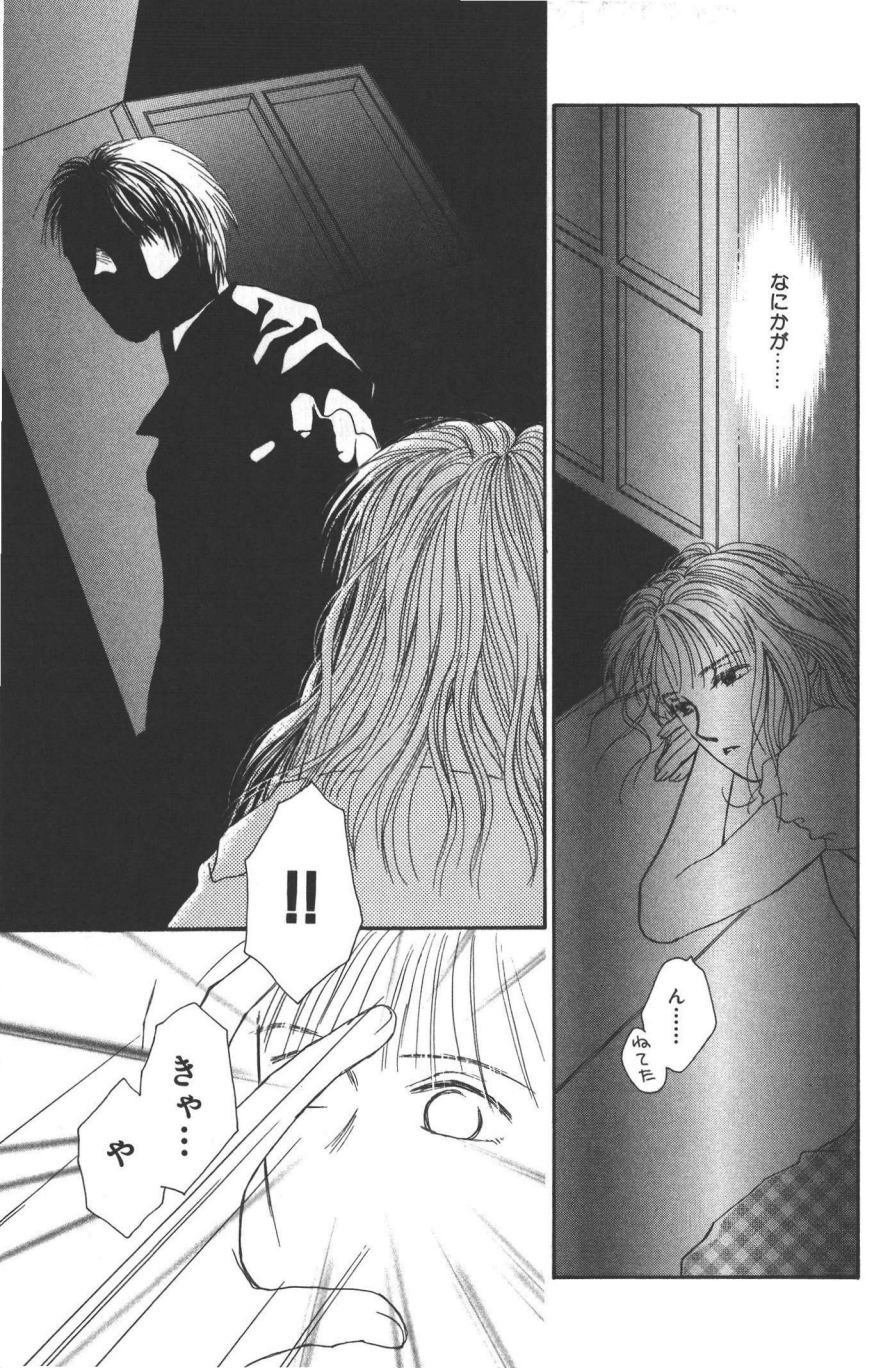

また貴和に会ったの？
どうして……
あの子の言うことならなんだって聞いてあげたし
あの子だってママがいちばん好きだって
由枝ちゃんがお腹にいた時も
貴和がいらないって言うから
堕ろすはずだった


パパに止められたけど…
おかしいわよね
貴和の時は放ったらかしだったのに
ママ
どっちがよかったのかしら
あした帰るから
屋根裏の物置にパパに届けて欲しい物があるから取って来て
タン
タン
……
知ってたもん
そんなこと……


……
カチャ…
なにも
ないけど
パタン
カチリ
!?
鍵を――
ママ?
何するの
ガチャ
ガチャ
そこにいてね
由枝ちゃん
あなたがいれば
貴和が
帰って来るかも
しれないから


そんなこと…
この家から
いなくなったなんて
やっぱり
思い違いだったわ
そんなこと
するはず
ないもの
ドン
ドン
出して
ガラッ
うわ
高いし…
着地しそこ
なったら
骨折くらい——
どうして
こんなこと
……
あいつ
本当に
家出でも
したのかな
だからって
……
ホントに
変よ
ママ
あいつも

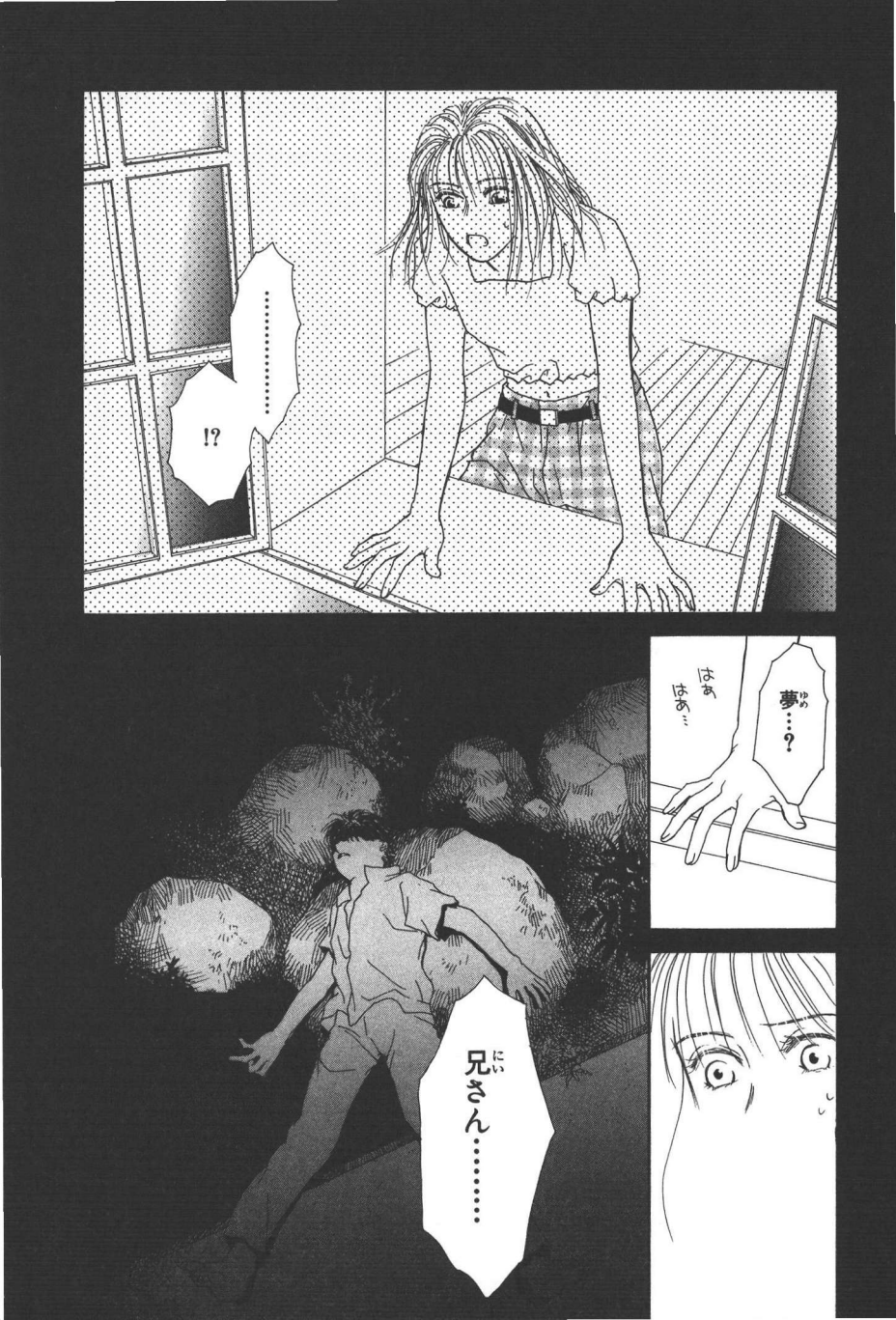

……ケガしてる
植木鉢のカケラが…ココに…
植木鉢や
ハサミは本物よね
でも
ママが来た時
あいつは
影も形も
なかった
血だって…
たしかに
匂いも
触った感じも
したのに
錯覚って
こういう
ふうなコト
言うのかな
……
それとも
あたしも
変なのかも
しれない
この家に
戻って来た時から
――


なにかが……
ん……
ぬてた
!!
きゃ…
や

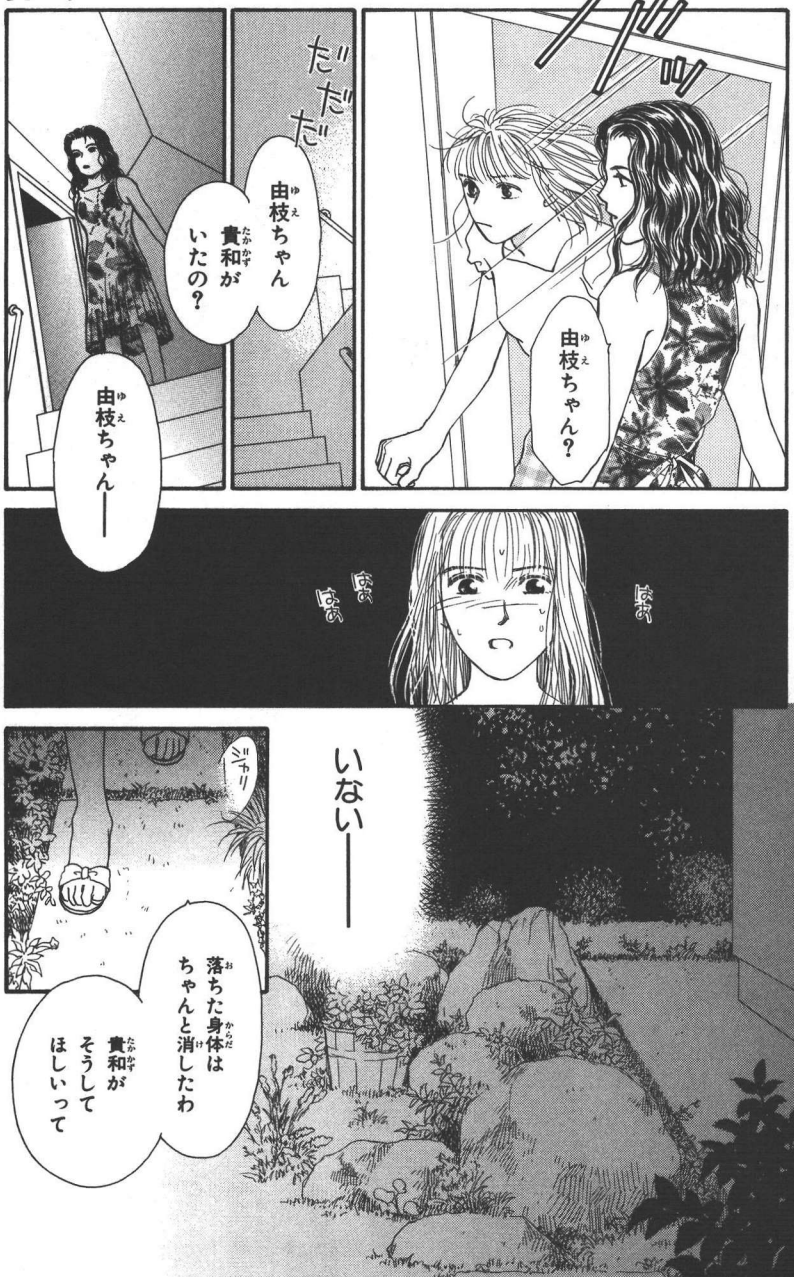
やめ……
あ…
あ
う…
苦しい？
ママ!?

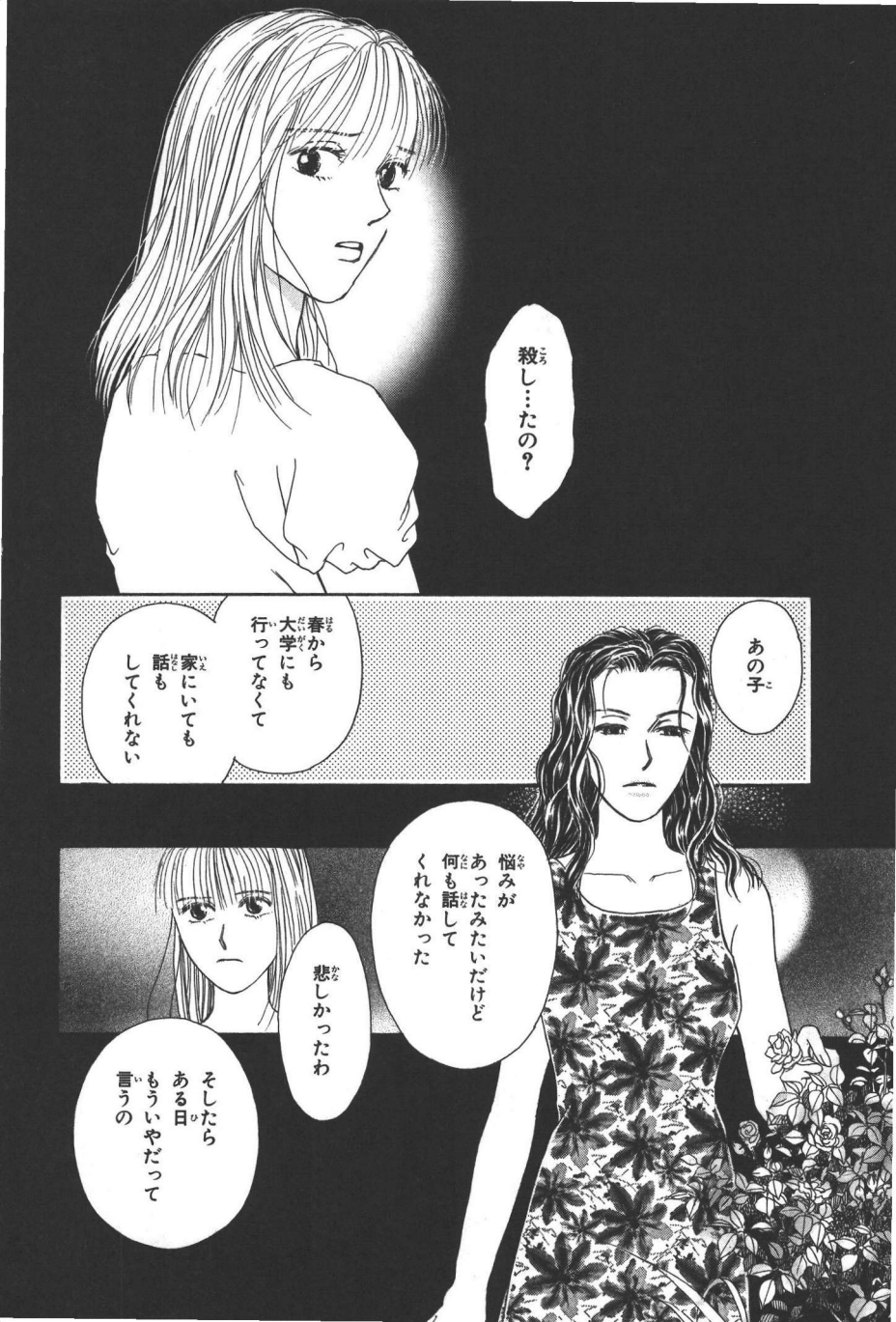

貴和
え？
でも
あなたが
こうしてほしいって
言うんですもの
大丈夫
ちゃんとやるわ
でも
落ちれば
下は岩だし
ナイフも
あるから
ちゃんと
あなたの
望みどおり
……
ああ
ごめんなさいね
力がなくて

この世界から
消してあげる


……
!?
夢…？
はぁ
はぁ…
兄さん……


ママ
ママ
兄さんが
兄さんが
庭で
倒れてる！
本当よ
見て！
カチャ…
そんなはずないわ
わたしが
きれいに
消したんだもの


ノブ
由枝ちゃん？
だだだ
由枝ちゃん
貴和がいたの？
由枝ちゃん――
はぁ
はぁ
はぁ
いない――
シーン
落ちた身体はちゃんと消したわ
貴和がそうしてほしいって

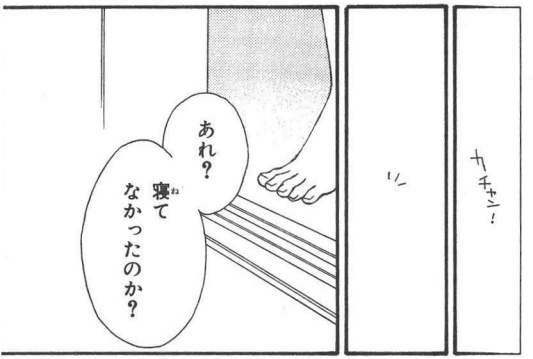

殺し…たの？
あの子
春から
大学にも
行ってなくて
家にいても
話も
してくれない
悩みが
あったみたいだけど
何も話して
くれなかった
悲しかったわ
そしたら
ある日
もういやだって
言うの

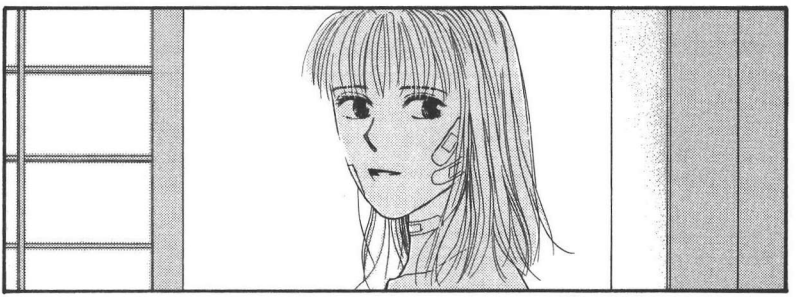

なにもかも
——よ
なにもかも
いやだから
ここから
消えたいって
この世界から
……
あの
木の下に
埋めたの
でも
あんなモノは
ただの
抜けがら
ね？
この人は…
由枝ちゃん
貴和はどこ？
本物の貴和は…


あれは
知らない……!!
あたしが見たのは――
いいえあの子は帰って来たのよ
由枝ちゃんもずっとここにいてくれるでしょ
ねえ
由枝ちゃん?
……
いや


放して
帰る……
あなたの家はここよ由枝ちゃん
ちがう――
ここはもうあたしの家じゃない
あなたたちなんか
大嫌い!!
由枝ちゃん

ガチャン


カチャン！
あれ？
寝てなかったのか？

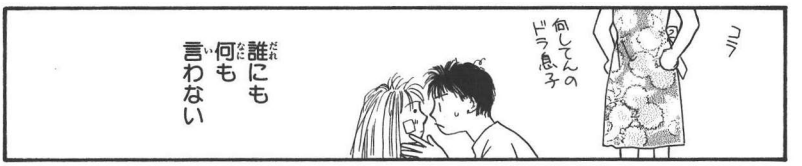


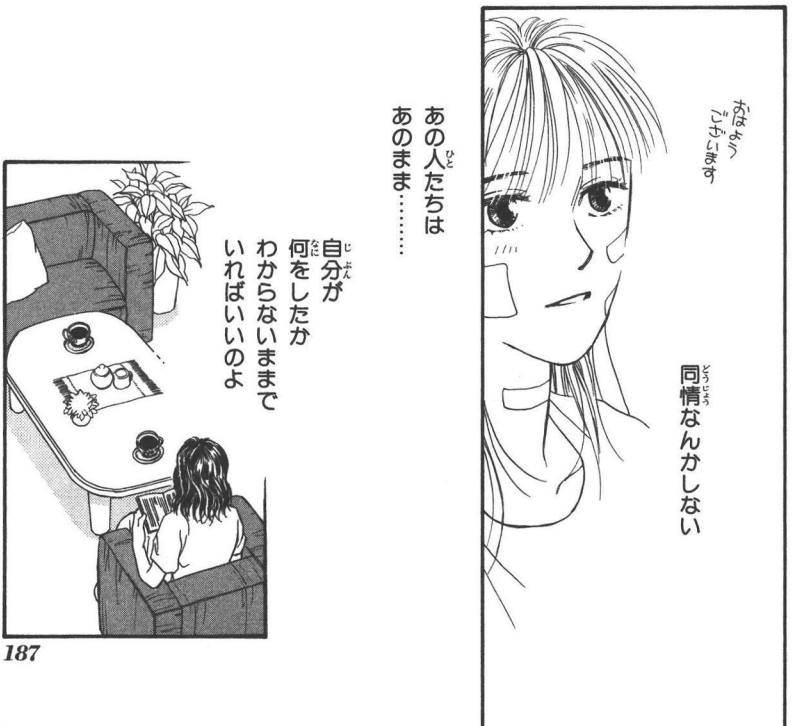

ごめんなさい
迷惑かけて
いや
べつに


親子ゲンカして
夜中に
家を飛び出して
来るとは
思わなかったけど
キズ
腫れてない？
うん
荷物とか
取りに
戻らなくて
いいのか？


あの人たちの顔なんか2度と見たくないから
おう。
……ウワサだけどさ
君の兄貴はなんか悩んでたらしいよ
女か勉強か金か友人か——理由はわからないけど
……ふうん
あたしも変なのかもしれない
なにも感じないし
悲しくもない
重再化ビズ化かしてもらえる？
借金のカタにヨメにもらうぞー
他愛ない冗談に笑っていられる
あたしね
兄さんが怖くて……だからちょっと年上…くらいの男の人が怖かったの


でも
怖くなくなるかも
しれない
……
だから

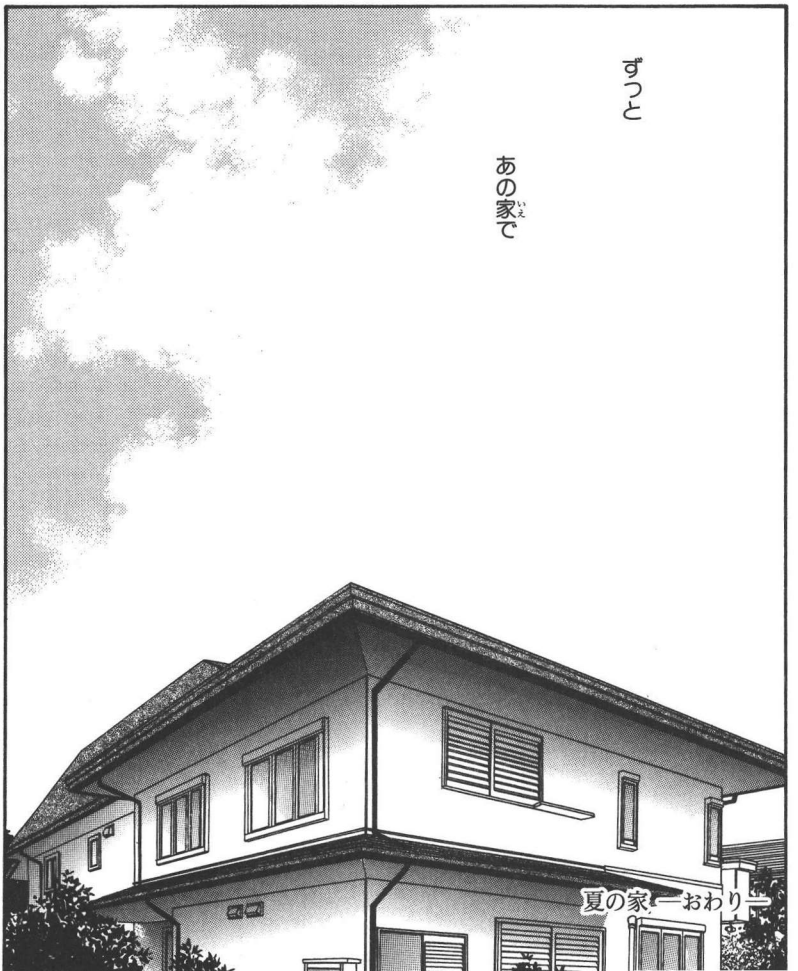

コラ
何してんの
ドラ息子
誰にも
何も
言わない

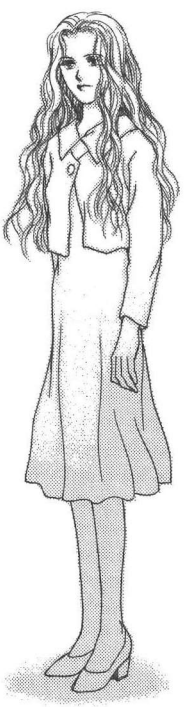

おなかへ
こわします
同情なんかしない
あの人たちは
あのまま……
自分が
何をしたか
わからないまま
いればいいのよ



ずっと

あの家で





♨怖い 一冊。

バラけるより いいかもと思って 一冊に。

怖いのが キライな人は よけて通れますし





「竜宮の消息」

あくまで名無しの おにーさん。 これは あまり怖くないのですが。

(笑うバケモ)もかわいいでしょう?)

五島から 横浜に来て 半年くらいたった頃に描いたらしい。

五島の あのあたりがモデル

↑?

白い砂浜を下に見て バスで登って行く坂道がとても好きでした。

「坂の下」



花屋さんが描きたかった。

この外人墓地は 横浜のではなく 長崎の。

「冷お記憶」

読みかえしたら…「なんてヒドイ話を♨」と思った。

この話を作ってる時「ラストに主人公は死んだほうがいい?

ハッピーエンドがいい?」と

編集さんに聞いたら

「やっぱり 死なないと」と言われたとはいえ…。

〝怖い話〟って注文だったとはいえ….

絵的には 楽しく描いてたことが

また そらおそろしいぞ 自分。

「夏の家」

これも〝怖い話〟って頼まれた。
主人公の瞳がまっくろね。

た・ま――に　凶暴な気分になることがあって
そういう時に「怖い話」を頼まれるといいけどねえ。
でも「怖い話」は本数としては少ないし
やや最近、の仕事なので
昔はどうしてたかと言うと　テーマが少しばかり凶悪な気分を
かもし出したりしてましたね。
若かったせいもあるのでしょうか。

今、凶暴な気分になるのは歯医者に行って
ひどい目にあった時くらいで
(もとはといえば自分のせいなのですが)
家に帰って痛むほっぺたを冷しながら
「医者のばか――」とブツブツ言うのです。

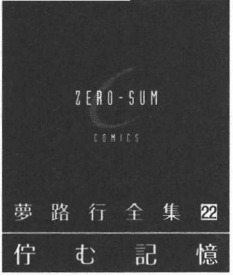


この行き場のないイカリを
作品にぶつけるべきでしょうか
…でも
痛くなくなるとコロリとハッピーになり
歯が良くなったことに
「ありがとう　医者…」と思うのです。

怖い話でした。

Yumeji Kou

P.S.　カバー裏のカット…また関係ないものです。



2005年8月15日　初版発行

著者／夢路 行

発行者／杉野庸介

発行所／株式会社一迅社
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-10　成信ビル8F
電話　03-5312-6851(編集)
電話　03-5312-6150(営業)

印刷・製本／図書印刷株式会社

本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

落丁・乱丁本は株式会社一迅社販売課までお送りください。送料小社負担にてお取替えいたします。

定価はカバーに表示してあります。

ISBN4-7580-5159-3
©夢路行／一迅社2005　Printed in JAPAN

IDコミックス

●この作品はフィクションです。実際の人物・団体・事件などには関係ありません。

Kou Yumeji
Complete Works 22

9784758051590

ISBN4-7580-5159-3
C9979 ¥552E
雑誌 50633-52
定価：本体552円＋税
一迅社

1929979005528







【収録作品】

竜宮の消息
坂の下
佇む記憶
夏の家